京城日報
十九百夕刊
定價 本紙一部金五錢 一箇月[illegible]
發行兼編輯人 奧田[illegible]
印刷人 小川三之介
發行所 合資會社 京城日報社 京城太平通一丁目

○墺國俘虜收容決定

墺國兵百五十名は北京城外西苑に收容するに決し大佐蔡廷幹氏を收容所長に任命したり(北京特電)

○雲南督軍北伐の政策

雲南督軍唐繼堯氏は獨立を宣言せしも北伐政策は未だ確立せず(北京特電)

○法王提議拒絶

聯合諸國首都よりの電報は悉く聯合國が擧つて羅馬法王の平和提議に對して拒絶する旨を傳へたり(桑港電報)

○提議内容發表保留

羅馬法王の講和に關する新提議書の内容條項は全交戰國政府が之を接受するまで發表を保留しつゝあり(桑港電報)

○英國食料品頗る豐富

英國首相ロイドジョージ氏は下院に於て説明して曰く目下食料品の貯藏は頗る豐富にして昨年に比すれば小麥粉二百萬クオータース肉類二百萬噸の多額を藏しつゝあり又た船舶の喪失は今年二月より今日に至るまで一箇月の平均喪失噸數は二十五萬噸に過ぎざるに本年上半季の建造船舶噸數は四十八萬四千噸に及び下半季は百四十二萬噸建造の豫想なり(倫敦電報)

○日銀株主總會

日本銀行第七十回定式株主總會は十八日同行にて開會し半季決算報告あり夫より本年末任期滿了の理事片山貞次郎氏の後任候補者を選擧せしに片山貞次郎、原六郎兩氏當選せり當季利益金二百九十五萬圓▲定例割歩、舊株六分、新株六分▲再割歩金舊株六分、新株六分(東京特電)

○山田旅團長等通過

山田歩兵第十二旅團長、宇野砲兵第九聯隊長、騎兵第十一聯隊長以下十九日御用船宮島丸にて淸津着直ちに任地に向ひ出發したり(淸津特電)

○本岡事務官著釜

總督府事務官本岡榮次郎氏は十八日夜連絡船櫻丸にて釜山着一泊の上十九日午後十一時發列車にて歸任すへし(釜山特電)

○浦鹽歸客三百 封鎖解除の爲め

浦鹽の封鎖解かれしため十九日浦鹽より入港の平安丸には三百餘名の乘客ありたり(滿州特電)

○講和斡旋前途 結局拒否されん

羅馬法皇は各交戰國に對し講和の斡旋をなさんことを提議したりと報せらるゝ眞僞は後報を俟つにあらざれば判斷し難きも羅馬法皇は是迄幾度か獨墺側より講和の提議を慫慂され法皇も又自ら歐洲の舊教各國に派遣しある法皇廳大使を通じて講和に對する各國の意嚮を探り提議の時機を窺へるは否認すべからざる事實なるを以て該提議説は強ち單に一片の風説として拒否し難かる可し而して提議が果して事實なりとせば幷は法皇が平和希望の公心より出でたるものなるは勿論なりと雖も從來獨墺側は法皇を利用して講和斡旋をなさしめんとしたる事實あるのみならず獨墺側は今日に至りては講和斡旋の恃みとすべきは只法皇聽あるのみなれば裏面に於て獨墺側と若干の關係あるは之を察知し得べし之に對して聯合側は直に之を拒否し去るべきは聯合側の戰爭に對する決心の頗る鞏固なるものあるに徴して明かなれば法皇の講和斡旋説も目下の處にては講和の前途に何等の權威を齎さゞるべしと觀測せらる(東京特電)

●證券應募好況● 東京大阪方面

今回の國庫證券は新規應募に屬する利廻り五分七厘八毛露國藏券乘換應募に屬する利廻り五分八厘七毛に當るは既記の如くなるも右利廻り計算にて所得税免除及び募集取扱人の手數料割戻を除外し居るを以て之を加算する時は新規應募利廻り五分八厘三毛

▲露國藏券乘換 應募利廻り五分九厘二毛に當り帝國政府の國債としては殆んど破天荒の條件なり加之今回の證券は政府に對する擔保の外に日銀の引受し擔保となる特權を有し且つ充用市債に其例稀なる特點を有し他の償還期限の長き國債償還中常に其價の變動を招くが如き危險なく却て戰後資金の需要急迫する場合には現金償還を受くる便宜あり國債中に於ても未だ曾て見ざる好放資物にして資産家の遊資を運用するに最大の好機會を與へ居れり而して政府が此の如く財政上の犧牲を省みず資産家の放資を奬勵する所以のものは[illegible]下の如き

▲天下多事の秋に際し國民たる者は一時の好景氣に醉ふて奢侈浪費に耽ることなく戰後必ず到來すべき財界の大波瀾に具ふる覺悟なかるべからざる爲めにして國庫證券の募集の發表さるゝに至らば其成績は良好ならんと期待されしが果して豫想の如く募集の發表後應募人氣俄に引立ち未だ公募申込期に達せざるに拘らず各地の申込豫約續々到來し目下事業熱に浮かされ國債類を全く冷視せる大阪方面に於ても應募人氣仲々盛況を呈し來り又東京方面に於ては一口三百萬の新規大額申込を始め百萬圓前後の新規申込少からず其他露國藏券乘換應募申込の如き殆んど其所有者の大部分に亙らんとする狀勢にて一時應募成績の如何を氣遣はれたる國庫證券は申込期日前より既に伸びの好況を呈せりと(東京特電)

○兵器製造所工事

[illegible]の運用地四十萬坪に新設せらるゝ陸軍兵器製造所の大正七年度豫算は約二百萬圓なる內約百二十萬圓は機械類にて右機械類中重要品は之れを內地の鐵工場等に於て製作し能はざるため米國に注文しあるも本年度に於ける設備は地均し及び基礎工事を出でざるべく建築並に機械据附は明年となるべし

○增師施設進行 物價騰貴の影響

物價暴騰甚しきため一般建築費其の設營費の增加に少なからざる困難ある模樣なるが朝鮮軍司令部の所管に係る增師兵營並に

▲陸軍官舍 新營の如き大正六年度に於て龍山大田咸興等の軍營並に官舍合計約二百萬圓の工事を施行すべき所なる所木村セメント煉瓦工賃すべての値上りに遭ひ本年分の不足のみにて約五十萬圓に達し明年度も亦約二百萬圓の工事あり同く五六十萬圓の不足を見る模樣なるが當局にては

▲豫定計畫 完成上年度割の工事不足せりとて工事の大繰延べをなすは事實上不可に付其の不足額は繼續費として支出の事に決定し居れる次年度の豫算を流用し結局の不足は最終年度に於て之を要求す可しと

○電報遲延原因

內地に於ては近來電報遲延の聲高く朝鮮も亦內鮮間の電報に於て同樣延著少なからざるが其の理由に付當局の語る所によればこは近來一般的に電報の

▲通數增加 せし事を主因として次に照校電報爲替電報至急電報の殖ね來りし事をも數へざる可からず蓋し照校電報は一應發信局にて逆信するも受信局にて其受信の儘之れを打ち返し卽ち一通にて二通分の手數を要す尤も料金は四分の一增にて大に電文の誤謬を防ぐに効あり更に爲替電報は平均一通六十字以上を算し然も概ね誤まりを防ぐため照校的に發受信局は打返すに付頗る時間を要す至急電報は

▲一般的電報遲延の傾きあるため至急報とする者多き關係に座す之等の事情は普通電報の遲延を來さしめ居るが之等は內鮮間の電信線の增設に待たざれば容易に其の遲延を防ぎ難し但し當局にても最善の方法をとり其の苦狀を少なからしむる事に努力し居れり尤も東京京城間の通信の如きは之れを內地の大阪東京間神戶東京間等に比すれば遙遠の狀態にあり

○朝鮮蠶業振興 ●製絲業の勃興を促す●

朝鮮蠶業の進步著しきものあるは既報の如くなるが本年の成績は特に良好にして目下の狀況を以てすれば僅に

▲產繭額九萬石 に達すべき豫想なり之を內地に於ける年產額六百萬石に對比する時は到底其比較にならざるも明治四十三年に於て漸く一萬二千石內外に過ぎざりしものが僅々數年間に其七倍に達したるは進步の如何に速なるかを知るべく殊に產額の增加と同時に品質も亦改良せられ本年の九萬石中在來種に屬するものは二千石を出でざる可く其他は悉く改良種なり如斯近年

▲產額の激增 を見たるは移住內地人農家に於て盛に副業として飼育するに至れること重なる原因の一なるが如し例へば全南地方に於ける[illegible]殖に於て殆んど此副業を採用せざるなく現に全南[illegible]州附近のみにて內地人飼育者百二十戶の多きに達せるあり內地人農家及び朝鮮人の飼育者も從つて增加する狀勢にあり又慶南密陽附近に於ては實に大製造業者が力の利用上蠶飼育を爲すもの甚だ多く昨年の如き其結果同地附近のみにて

▲桑苗二十萬本 を植栽したるが本年も亦二十萬本內外を植栽し此外果樹園經營者にして養蠶を副業とするもの亦尠からず此等は僅に一二の例に過ぎざれども全鮮を通じて此盛況にあるを以て今後兩三年を出ずして十五萬石に達すべく昨今京城に創立計畫中に在りと傳ふる製絲工場の如きは僅に一部分を消化し得るに過ぎざれば遠からずして製絲業の勃興を促すに至るべし

○京畿黃海稻作

京畿黃海兩道に於ける本年の稻作は各道中最も悲觀され居れるが其の作柄に付當局の談を聞くに兩道の稻は本年場所により著しく出來榮へに不同あり卒然鐵道沿線のみを視察すれば頗る豐作に見ゆるも一度足を內部に入れば殆んど收穫皆無に近きものなきに非ず之れ初夏に旱天打續きたる結果用水の過不足並に植附の早晩を見たる結果より來り更に挿秧期遲延のため農家は稻作の前途を危ぶみ施肥をす分ならしめざる等の關係なるが現狀より逆觀して六七分作は下らざるべきか

○滿洲行の東拓理事

東拓の滿洲方面進出前一應重役の滿洲視察の必要あるやにつき石塚總裁は各地騷動の事について[illegible]南鮮方面にも旅行の必要あるやにて其の滿洲旅行は十月に延期さるべく結局松平理事若くは高瀨理事の何れかと出張の事となるべしと云ふ

○駐米支那領事入京

米國駐在支那領事張天仙氏は歸國の途十九日朝南大門驛著入京令兄に當る京城總領事富士英氏宅に入れるが一週間計り滯京の豫定なり

○高橋少將張宴

總督府附武官高橋少將は既記の如く十八日午後七時より朝鮮ホテルに於て進級披露宴を開き山縣政務總監以下各部長官、房局課長、武官、副官、秘書官等二十二名の外所屬官署の長官及び警務總長以下憲兵五名軍司令部參謀長市川少將以下八名師團長以下幕僚其の他の知友六十五名を招待せり

○大阪財界近信

▲綿織物の暴騰 綿織物の暴騰は各地とも大恐慌を呈し居れり例年にては冬物の取引は七月より開始さるゝ例なるが本年は早きは五月より始まり六月に入りては夏物の仕入れ京都にて稀有の現象を呈したり本年は餘りに木綿物騰貴せるため昨今より京都の問屋に來りし仕入客も見合せ一應歸國の上更に上洛するもの多しといふ凡て昨年に比し多物相場の六七割見當騰貴せるものゝ中にて白木綿の騰貴は驚くべく白生地物は昨年八月一反四十五錢見當のもの一圓六十錢見當晒木綿販印生地一反三十六錢のもの昨今八十五錢の卸値段となり之に晒賃を加算する時は晒木綿の小賣値段は一反一圓餘に當ると木綿手拭は五十錢位のもの一圓五十錢見當なりかく白生地等の暴騰につれ綿縮物等も自然暴騰して白木綿に次ぐ騰貴は美州物絣縞紺等にして昨今一圓五六十錢を唱へおれり裏地も金巾類も海女十錢見當の品作今四圓三四十錢を唱へおれり本年秋冬に入らば市場に一圓六七十錢見當の品は求め得ざるべし染貨從前に四割高の金巾モスリン濃淡色等も金巾裏地は緋花色の各色を通じて十割以上卽ち二割以上に値上せるも充分に需要を充す能はざる有樣也と

▲西陣職工爭奪 昨今京都西陣にては職工の爭奪旺んにして賃業者が何等金錢の前借等を口外せざるも強制的に前金を提示して賃業者を爭奪せんとしつゝあり殊に博多職工中伊達帶織に從事せるものは多く召集されたりと

▲輸入染料騰貴 內地西染料硫化ブリユーブラック暴騰の結果各染工場は競ふて輸入品を使用すべきを見越思惑的買物現はれ爲めに輸入染料漸次昂騰しコクリユーブラックFB七千パーセント三百五十圓のものゝ七十圓に同五五百四十圓のミンの如きは在品拂底のため昨日三千圓のもの最近三千百圓に何れる騰を告げ市況衙陣の見込みなり

▲貝釦比較的高 貝釦は三月來の禁輸同樣の有樣にて濠洲印度方面にもれ需要は爲替關係のため殆んど禁止奢侈品として英本國には輸入禁止さるは米國のみに止まるを以て市況は沈衰を極め居るも最早殆んど目下唯一の仕向地たる米國には現品缺乏し居るを以て或は近く意外の大注文殺到すべく期待され原料は需要少きにも不拘比較的高値を唱へつゝあり

▲晒粉市況沈靜 晒粉は來月より需要期に入るにも拘はらず市況頗る沈靜を極め相場僅に百ポンド八圓を呼びつゝありて辛うじて製造費に値するもこの相場は恐らく底値なるべしと(大阪支局)

○釜山府債認可申請 釜山

府に於て今般改修すべき釜山鎭古館間道路費八萬圓の中釜山府の負擔すべき四萬圓の起債は朝鮮銀行より年利七朱を以て借入ることに府協議會の諮問を經たるを以て十八日總督府に同起債の認可申請書を提出したりと(釜山)

○水野大尉赴任 釜山守備隊

より大邱第八十聯隊へ轉任せし步兵大尉水野信氏は十八日朝發列車にて赴任したるが後任なる步兵中尉大村謙吾氏は二十日大邱より來任の筈なりと(釜山)

○千葉視察團通過 千葉縣

教育視察團一行は十八日午前五時四十分發列車にて仁川より來釜市內を觀覽し同夜出港の關釜連絡船高麗丸にて下の關に向へり(釜山)

○支那敵人取扱規則

八月十四日內務部令を以て左の通り敵國人取扱規則發表せらる(北京)

第一條 支那に在留する敵國人民は五日以內に當該地方官廳に出頭し護照の下附を請願することを得

第二條 宣戰以前登錄を經ざるものは當該地方官廳に於て夫々取調の上十日以內に一律登錄せしむべし

第三條 登錄濟の敵國人民にして當該地方官廳の認定を經たる後は現居住地方に引續き居住するを得其身體生命財產は何れも相當の保護を與ふべし但し保護不便の場所又は必要と認めたる場所には當該地方官廳より之を指定地點に移居せしめ又は政府より護照を發給して出境せしむることを得

第四條 移居を指定せられたる者又は出境者の財產にして攜行すること能はざるときは當該地方官廳に於て夫々取調の上之を封鎖するか又は別に保管の方法を講ずべし本人が敵國人に保管を依託せんとするときは當該地方官廳の許可を要す

第五條 支那に在留する敵國人民は和平適當の事業に從事することを得但し豫め當該地方官廳の許可を要す

第六條 旅行遊歷は一律之を禁止す

第七條 敵國人民は一律入國を禁止す但し政府の許可を得たる者は此限にあらず

第八條 敵國人民の出版に係る書籍新聞紙類は何國の文字たるを問はず當該地方官廳に於て必要と認めたる場合之が發行を禁止することを得

第九條 本規則は臨時修正することを得

第十條 本規則は公布の日より之を施行す

○雲南督軍宣言

雲南より中央政府へ達したる電報によれば唐督軍の獨立宣言左の如し(一)黎總統の國會解散令は斷じて承認せず(二)黎總統の辭職は未だ國會の承認を得ざるを以て正當と認むるを得ず且つ辭職通電中疾に因り任に勝へず等の語あり今黎氏政躬康復し辭職の理由已に消滅したれば原職に復任するを以て正當と爲す(三)倪嗣沖以下國會解散を主張せる督軍團は嚴重に懲辦せざるべからず(四)段內閣は約法に準據して成立せしものに非ず故に之を承認せずと(北京)

○奉天賑災局新設 奉天省

各地本夏の大洪水は實に十數年來の水害にして奉天行政公署に於ては現に各縣知事より報告を受けたるもの十二三縣に達し均しく被害劇甚にして其慘狀言語に絶し今や罹災民は困窮甚だしきより張督軍は一方ならず心痛し直に王財政廳長と協議の上私財三萬元を支出して賑災局を設け一般罹災民の救助に從ふ事となれり(奉天)

○滿蒙銀行準備

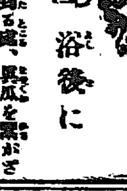
支那人側にて計畫されつゝある資本一百萬元の滿蒙銀行は將來哈爾賓に支店を設くべく目下委員を派遣して各方面の調査に從事せしめ居れりと(奉天)

仁川 ▲金光教慰靈祭 仁川金光教會長生沼氏は今回朝鮮布教管理者に任命されたるを以て二十日午後八時より慰靈祭を兼ね奉告祭を行ふ由

木浦 ▲商議選擧 來る九月一日を以て總改選すべき木浦商業會議所評議員は本日迄の候補者現議員中波多野氏斷然辭任の發表あり新に內谷萬平氏出馬の筈にて他に候補を名乘る者なく結局無競爭に終るべしと觀測せらる▲試運轉 去る五日竣工したる警備船第一鵜丸は其後所々修理中なりしが此程落成せるを以て十五日試運轉をなせしが成績極めて好良なりき▲島司歸任 郡主任會議陪席の爲め油谷主任は十五日歸任せり▲郡主赴任 珍島郡守に新任せられたる南宮氏は來り便船待合中の濟州島司今村鞆氏と同行光州へ出張し十二日木浦に十六日木浦發赴任せり▲台耳島の二へ漁場 務安郡荏子面台耳島の二へ漁場は毎年七月より十月迄の間に於て多大の漁獲を得つゝあるが本年は豫想の見込にて[illegible]之を昨年より二倍の高を示したれば去八月一日より十日迄に於て二萬四千二百二十七尾平均二十錢とし四千七百四十五圓其他鰈魚二千二百五十餘圓に達し益々有望なるが臨時漁場の例に漏れず料理屋飲食店多數開店せしも珍しくも婦人の渡島せざれば喧嘩の聲を聞かず

人事消息

▲本間九氏(李王職事務官) 十九日午前釜山へ
▲神田純一氏(警察官) 十九日午前仁川へ
▲三井農場技師 十九日午前定州へ
▲ブリオデヤ氏(白耳義領事) 十九日南大門へ
▲漢城小學校教員團十三名 十九日南大門へ
▲岡本正雄氏(咸興地方法院長) 十九日午前內地より鎭南浦へ
▲西田常三郞氏(元山每日新聞社長) 十九日午前元山へ
▲川村敬一氏(朝鮮商業會議所) 十八日鎭南浦內地へ
▲京都商業會議員二十五名 十八日午後元山へ
▲澤田賢名二氏(大阪府立茨木中學校教諭) 十八日午後入京山本旅館へ
▲石崎信太郞氏(明治銀行支店長) 十八日午後入京京城ホテルへ
▲牧野英一氏(法學博士) 十九日南大門へ
▲跡見弘氏(橫濱商業家) 同上
▲岩永隆只氏(實業家)▲田村武三氏(同)▲田邊[illegible]作氏(同) 十九日朝入京 南尾へ
▲列池富作氏(大阪辯護士) 同不知火旅館へ
▲竹尾淸磨氏(同) 十八日[illegible]旅館に
▲近藤專一郞氏(京城中學教諭) 同京城へ歸任
▲近藤敬太郞氏(鐵道管理局技師) 同龍山へ歸任
任地馬山へ



浴後に

○昨日市中到る處、興瓜を鬻がざるなし。宵に、晝に、白に、黑々として瓜臭鼻を刺す。宜なり市中一日の消費高、實に二萬個以上也と。而もこれが鮮人中流以下の米の代用たり、爲に米價を調節する處多し、之れを全朝鮮に見よ、蓋し其の大なるものあるを知るに足らむ。物も善用に由る、一概に貶すべからざる也。

○京城 程町名の複雜混亂したる都會は稀なるべし、爲に訪者は餘計の時間を空費し、萬事の不便却々少なに非ざる也、市區の改正は、先づ一度町名の整理より先にすべし。

○土佐に民權婆さんと云ふあり。當年八十四才、楠瀨喜多子と呼ぶ。立志社時代の女傑也政界の巨頭を見る小兒の如く、殊に頭山滿翁などは呼捨にさる。近く上京して、集會條例改正の運動をなさんとすぞ。露西亞か、英米へ持つて行けば、大に歡迎さるべし。

販 時間表 (行南) [illegible] (行北) [illegible] (行南) [illegible] 線 [illegible]

▣仁川の海 夏の盛りの宿さを仁川の海は誇つてゐる。沿岸に立てば云ひ知れぬ凉風は強き光を投げて、月尾島の灯火の群がうつゝまゝに…

●朝鮮の尼さん探訪 (3)

▽―金歯を入れたハイカラ尼さん
▽―四ツの時から十七年間の尼寺生活▽―今年二十歳の若い血が湧いてくれば悲しくなる娘の浮世▽―唯
ニコ〳〵の八十老尼 (四 五) 素學文

鮮人青年のものした『釋王寺夏籠りの記』…三…

床しい草の薫りに包まれて名も知らぬ小鳥の囀づりを聴きつゝ、二三丁往くと山腹に瓦の屋根が見ゐる。喘ぎ〳〵ながら急勾配を上つて往くと、門口に女だか男だか、一寸見分けの付かぬ男装をした尼の一群が立つてゐる。中には十歳ぐらゐのいぢらしい小娘も居れば金歯を鏤めたハイカラ姿も見ゐる。

『皆様どちらへ?』と聞くと、本堂の縁側に坐つてゐる四十歳ぐらゐの人の好さゝうな片目の田舎女を指しながら、『あの人と、も一人老尼に留守を頼んで、皆は藥水を飲みに往く』といはれて私は心の中で、尼等に留守を頼まれるぐらゐの人なら餘程尼等と縁故の深いに違ひない。丁度折がよい或ひはかういふ人に聞いて見た方がほんとうの尼の生活の一端を窺ふ事が出來るかも知らないと思つた。尼等が出て往つた後私はその女の側に往つて腰を掛けて息をつぐためにと巻煙草を取出して吸つた。するとその田舎の女は側に置てある朝日の匣と煙草を吸つてゐる私の口元とをシゲ〳〵見詰めてゐたが欲しくて堪らない樣な目付きで『このたばこは高價いものでせうね?』と聞く。私はそんなに高價いものではないといつて、一服勸めた。するを待つてゐましたと云はんばかりに、先生は息をつく間もなく忽ち一本吸つて了つて『濟みませんがもう一本』と云つて續け樣に二本目に火を付ける。先生餘程たばこに飢ゑたらしい。私は未だ仙のがあるから皆上げやうと云つて匣ぐるみにやると、先生は滿面に包み切れない喜色を浮べながらしきりに『それは濟みません〳〵』と連發する。それから先生はたばこに法悦してか、色々と話し出した。

『私はこの安邊郡の者で、娘に逢ひに昨日こちらへ參りましたが、この寺にはたばこがなくて實に困つてゐたところへあなたからたばこを頂いて本當に助かりました。』

『娘サンはこちらで何をしてゐられるんですか?』と私は聞いた。

『ハイ、娘はこの寺の尼でございます。あれは小供の時分あまり泣きますのでね。晝宵を問はず四六時中哭き通すもんですから、これはきつと何にかの因果で祟れた娘に違ひないいつその事佛樣にでも上げた方が好からうと思ひましてね、そして彼女の四歳の時こちらへ連れて來て尼にさせましたが、今年二十歳になりますから丁度十七年になります。』

『そしてあなたの娘樣は今でも尼の生活に甘んじて居りますか?』と私は聞いた。

『ヘ、それは本とに妙でございますよ。私が彼女を四歳の時にこの寺に預けて置いて、彼女の十一歳の時に一度逢ひに來ました。そして今度で二度目ですが、私がこの前に來た時何うだ一緒に歸る氣はないかと聞いたら、彼女は全く首を横に振つて嫌だと云つて居りましたのが、今度は自分から先きに俗人の生活は隨分面白いでせうねと云ひ出すんでございますよ。それは俗人の生活は面白いには面白い事もあれば辛い事もあるが、御前は俗人になつて歸りたくはないかと私が聞きましたら、彼女は暫らく黙つてゐましたが、矢張りも少し經つて見なくては解らないと云つて居りますよホヽヽ、』

『それぢや矢張少しは俗に還りたい心持があるのでせう。』

『それは御座いませうとも。私がこの前來た時には彼女と同年輩の者が澤山居りましたけれども、今度來て見ると、その時にゐた者は一人もなく、皆新らしい顏ばかりですから、可笑しいと思つて聞いて見るとその時にゐたものは皆逃げて了つて、あの娘一人しか殘つてゐないといふのでございますよ。早晩彼女も何うなるか解り申しません。しかし彼女が先きに何とか言ひ出すまでは私は何にもかうしろあゝしろと差圖はしないつもりで居るのでございます。』

とベチャ〳〵と喋り續ける。折しも黒つた低い空から大粒の雨が一粒二粒落ちたが、篠をつく樣な夕立がザーッと降り出した。私の側には何時の間にか留守番に殘された云ふ八十歳を越した老尼が來て座つてゐる。少し話をしかけて見たがただニコ〳〵笑ふばかりで餘り物を云はない。雨が少し小降りになると、老尼は私の袖を引きながら『どちらからみいでになつたか存じませんけれども今日は小供等が他所へ往きまして歸つて來てからでなくては御飯を炊きませんから、もつと降らないうちに早く御宿の方へ御歸り下さいまし。』と、追立てる。此老尼は御飯の世話にでもならるゝと困ると思つたらしい。私は笑ひながら『御心配なさる事はありません。御婆樣に迷惑を掛ける樣には致しません』と云つて、二人に別れを告げて、裾を端折つて驛足で歸つて來た。

●白晝殺人の兇賊逮捕 一名は生野一名は高知にて

去十四日大阪東區谷町五丁目川島伊三郎の妻女つる(五〇)を白晝縊れ手拭にて絞殺逃亡したる犯人は其筋嚴探の結果大阪安堂寺町三丁目古物商花田方番頭口廣吉(二二)外一名にして廣吉は生野に於て捕へられ他の一名は高知にて捕縛せられたり(大阪特電)

●狂人の投身 京城府逆洞金宗浩(三七)は精神に異狀を來し八月二日無斷家出し行衛不明中なりしが此の程東蔴浦岸の渓江中に死體漂流し居るを發見せり

●不義者 京城唐珠洞倉成吾の妻尹姓女(三二)は成吾が勞働出稼ぎにて常に不在勝ちなるより本年舊四月より鍾路區昌洞李石鉉(二八)と關係を續け居れるを探知したる成吾は八月二日鍾路署の現場を取押へ共謀兩名を告訴したるより尹姓女李石鉉の兩名は鍾路署にて取調べの上檢事局へ送らる

●拘留 京城昌信洞農商朴聖達(三七)は七月二十九日夜同洞を通行中なりし面識もなき金法成の妻尹在賢(三五)に追隨し猥らなる言葉を弄しゐたる所を巡査に發見され拘留五日の處分となる

●坑夫八十五名卒倒 炭坑發火して重傷者を出す

十七日午後五時福岡縣鞍手郡下境村本道炭坑第二坑り發火し作業中の坑夫八十五名一時卒倒せしが間もなく蘇生せりされど何れも重輕傷を負へり同所は明治卅七年七月より火災に罹り爾來十四年間の長き間延燒せるものにて常に煉瓦にて固く密閉しわたるが十七日突然煉瓦の隙間より燃燒中の煙が漏れて四方に轉火したるものなり(大阪特電)

◎豺の仔を燒いて食ふ 高陽郡元堂面新院里崔千吉(一九)元堂面元堂里李聖渠(二六)の兩名は此の程元堂面元堂里の山中にて薪取り中一頭の豺の仔を發見、附近の岩窟内に生後十五日位の豺の兒五頭を發見し之を以て燒し殺し食鹽を附けて燒きとなして悉く之れを食ひたりと因みに附近には昨今豺等の出沒甚しきより官憲人民協力警戒中なりと

●絶望的死地より 救助せられて (三)

『不思議に助かつた命』
―林漣川郵便局長談―

私共の頭はもう先刻から屋根裏に着いて居るのです、顏を屋根に附着けて漸やく口や耳に水の流れ込むのを防いで居るので、この上一寸か二寸水が多くなれば私共は籠に囚れて水に沈められる鼠のやうに逃げ路もなく流されもせずに屋根裏に附着いたまゝ

□□一家六人溺死し□□

なければ成らないのです今か今かと死を伴ふ水の迫まつて來るのを戰きながら待つ外はありませんでした澤山の蛇が顏の上を這つて行つたり頭に上つたりするのでした、先刻這ひ上つて來た石油罐が屋根に閊へて邀つたものと見ゑて私共のあたりは一面の油で其の臭氣は顏の上を歩く蛇と一緒に私共を窒息せしめなければ止まない程でした、鼕〳〵とする怖ろしい響が身に應へてズンと致しました私は家の周圍の壁が落ちたものと思つて居ましたが後で考へて見ますと此の前に私共の縋り付いて居た

□□家は車灘川本流□□

に流し込まれ怖ろしい音響の聞ゑたのは鐵橋の橋脚に醫つた時であつたでせう、それから凡そ三十分も過ぎましたが水は顏の上までは増しても來ませんから私共は暗の中から壁の穴を通して自分の妻自分の子供たちの名を呼び交はして自分と同じ樣に苦しい怖ろしい命を繋いで居る事を知りましたフト聞くと頭の上でゴーと云ふ音がします妻が雷が鳴るから雨は止まないでせうと心細さうに云ふのです私共は此の場合

□□減水を俟つ外に□□

六つの命を救ふ路はありませんのにまだ雷が鳴つて雨が止まないとすれば其れに次で來るべき恐怖の事實は愈々目前に迫つて參りました、まだ雨が止まずに水が増して來るでせうと妻が云つた後は怖ろしい沈黙が暫く續きました、其時又私は雷鳴の樣な響きと一緒に人聲を聞きましたと云つた時も前に妻が雷鳴を聞いたと云つた時も私は人聲を聞きましたがイヤ〳〵それは迷だ斯んな大洪水の折りに川中の島の殊に屋根まで水の中に沈んで居る家の周圍に人の聲がする筈はない山中であるから假かに救け船の來る譯もなし人聲と聞いたのは迷ひだ空耳だと思つて居たが二度目に人聲を聞いた時私はもう何事も考へて居る隙なく救けてくれッと畢生の力を絞つて

□□續け樣に呼ぶこ□□

確かに答へる聲がして屋根の上に人が飛び下りた音がしてそれと同時に私共はガブッと一度屋根に壓へられて水の中に漬かりました皆な水を呑みましたが屋根の上にはもう人が來て働いて居る事が分りました私は一生懸命で此邊に居ると云ふ事と屋根にはすぐ顏が付いて居るから刄物を打込まぬやうにと叫んだのです十分ばかりして私は屋根の上に救ひ上げられ續いて父、子供、妻といふ順に皆んな救ひ上げられました私共は恐怖と疲勞の爲め一時人事不省に陷りましたが甦つて見ると其處は車灘川の鐵橋の上で今しも

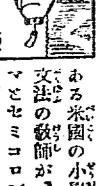
□□逆卷き落る激浪□□

が恰度私達の家を呑み込んでゆく時でした私共は危機一髮の際に不思議に九死の中から助け上られたのですが私共を救つて呉れたのは漣川保線助手乙藤作右衛門消防手佐竹数雄の兩名と外に四人の朝鮮人とです最初雷鳴だと聞ゑたのは此の人たちがハンドガーで線路の巡回に來た時で二度目に人聲と一緒に聞いた時は鐵橋の先きから引返へして來た時でした私は一家六人一人の生命を失はず無事に救けあげられた事を神と人の前に打伏して有らん限りの感謝を捧げて居ります

△同情者に告ぐ●●●

漣川郵便局長林久敬氏遭難の爲め一物も殘さず流失し一家六人窮困の狀氣の毒に不堪ざるものあるを以て同情者の爲めに本社に於て便宜取扱ひ先方に届け全品を同氏に寄贈せんとする人の爲めに本社に於て便宜取扱ひ先方に届け受領證として寄贈者氏名を紙上に掲載すべし

◎富豪の美擧 京城貫鐵洞百四十七番地韓鎬錫氏は高陽郡久把撥里附近にて昨日の豪雨に流失家屋ありたる旨を聞知し十八日小使參に白米若干を罹災者の救恤として寄附したりと



ある米國の小學校で文法の教師が、コンマとセミコロンとの區別を教ゆる際、生徒に區別の大切な事を示すべく生徒に質問した▲皆さんトーマスカムベルと云ふ有名な詩人がありました、其の詩人が作詩中のコンマをセミコロンに訂正せんため、態々印刷屋まで六哩の行程を往復したさうだが、其の理由は何でせう』▲すると怜悧な學生が言下に答へた『それはトーマス、カムベル氏が電話を持たなかつたからです』と質問の要點は失つてゐるが頗る明答だ、ある米國の雜誌に書いてゐたとは矢野遞信課長の話し▲金剛山の萬物相にも色々ある、舊萬物相、新萬物相それから此頃奥萬物相と云ふのが發見され、可なり屈強な探勝者は其の足跡を印してゐるが▲此の頃金剛山に行つた山岳の大家橋本遞信事務官は其の奥萬物相から更に山巓を縱走して奥の又奥の萬物相に辿りついたさうじや▲そこの眺めの雄大豪宕な事は素晴らしいとの事

讀者文藝 (一等に五十錢二等以下に雑誌を呈す)

▲俗謡「忘」

○母のみ靈に迎火焚くも情忘れぬ心から(一等) 大和町 秋穂生

▲身分忘れた南瓜が憎くや ひとの垣根をなぜ覗く 京城 東八軒平内

▲忘れまいぞへ秋風吹くが 持つた扇のこの要 利川 ふの字

▲忘れ扇にかけたる謎を解いて 島田の根がゆるむ 敦寧 穗波

▣課題及募集規定は欄外にあり

百演藝案内

黄金館 電話 二三六三七 二三六六六
天然色活動寫眞株式會社京城常設館一手代理店
八月十八日より引續き特別大興行 天活會社が最近の傑作
●教訓立志美談 鹽原多助一代記 全五巻
●奇々怪々 疑?人? 第四義 る影 自然界三大驚異の一 ●新派連鎖大悲劇 宮島心中 全十三巻 兒島旭川君說明

大正館 電話八七三 芳町
八月十七日より引續き特別大興行
○天下一品『出雲節』『花の露』
○新派悲劇『孝女白菊』(全五巻)
○喜劇『佐野鹿十郎』(全三巻)
○滑稽『ニッペルの變化』
‖活動寫眞は‖

浪花館 電話二六〇 明治町
△大阪親友派浪花節
△原晴夢、竹川馬生、京山若園三合同
○今回に限り平素の御愛顧御禮として入場料は破天荒…金五錢均一

有樂館 電話(階上)五九七番(階下)二〇五番
早川演藝部直營 活動寫眞常設館
東京小林商會特約 米國ユニヴァーサル會社一手代理店
▲八月十七日よりの特別大興行
△滑稽『戲の花束』 ▼米國ユニヴァーサル會社作
大活劇『雲間の家』全二巻 說明

新築落成に付(舊館の筋向へ)八月十一日より移轉開業す
▲向ふ一ヶ月間大割引
京城黄金町二(電話一四三四)
高等寫眞館

園藝種苗 御申込次第 無代進呈
横濱市中村町廿一 横濱植木株式會社 内國部

腦神經病に罹れる人さま〴〵の煩悶
▲されど悲觀する勿れ ▲暫く歎を止めて讀め

◈我は藝術家である
然り私は藝術家である。新しい思想に基く新しい技術、人は漸く私を認め初めた。不斷の研究更に一層の努力を要するの時、不幸腦神經衰弱は私を襲つた。頭は亂れ、技は荒んだ。私は世間から葬られんとした。思へば慄然とする。否しあの時、島村醫學博士發明の腦神經良藥健腦丸に頼らなかつたら……。私の病は恢復した。技も進んだ。不幸は永へに去つた。私の藝術は健腦丸が甦らせたのだ。

◈僕は學生である
そして僕は落第生である。私は腦神經衰弱の爲に學期の一年を徒れた、病の爲に實に殘念であつた、併し僕の救の神は出現した、曰く健腦丸である。健腦丸療法を續ける事一箇年、僕の頭腦は明晰を増し、記憶力が殖ゑ、元氣が出て、酷な不眠や、逆上や、憂鬱や神經衰弱の惡徴候は拭ふが如く消ゑ失せた。そして僕等の好成績を得た。

◈我は實業家である
神算奇略、商機を見る事掌を指す如き頭腦が何時か疊果てた。損はする、悩は増す、あゝ我が全盛も終を告げたのか……。否、否、天は私を捨てなかつた。勸められて健腦丸を用ふるや頭痛、不眠、便秘、逆上、憂鬱、邪壓ものは何時かなくなつた。私は再び活動の窮に立つた。今日の成功は一に健腦丸の賜である。

◈我は官吏なり
某役所の月給取である。二級俸に拔擢の間際になつて、何う云ふ者か頭が惡く、倦易く、仕事に間違ひして上官には睨まれる、同僚には笑はれる、失態百出、全く日頭の大酒からの腦神經の故障だと解つた。早速健腦丸を常用したお蔭で氣分も爽快となり、怖ろしい腦充血や卒中も未發に豫防が出來頭腦明快。今度は二級俸受合だ。

◈僕は健腦丸である
僕は關西で模範的と稱せらるゝ丹平商會製藥場で、幾多の專門藥學者が最新高貴藥のみを配伍して嚴重なる監督の下に調製された腦神經特効藥である。僕を愛用する方は腦神經衰弱症は素より、腦充血を治し、怖る可き小風卒中を未發に豫防し、逆上、頭痛、便秘、不眠等を癒し、記憶力を増進し、頭腦を明快ならしむる作用がある實際僕を一週間連用して見れば其の効果は乾度了解せらるゝであらう。僕の藥價は四回分廿錢、半週分四十錢、一週分七十錢から十週分五圓迄ある。本舖は有名な大阪心齋橋丹平商會、同平野町丹平分店、東京日本橋稻屋町丹平支店其他全國海外各藥店に取次販賣してゐる。速に求め給へ。」

●身代金詐取 慶南晋州生れの趙有仙(二一)は京城笠井町娼家李麗三方に…

二十六日頃住所不定の□土根(三)北署にて取調べの上檢事局へ送らる

□連絡船上陸客 十八日午前…

▣募集規程 ▲用紙は端書又は…

天氣 曇り時々晴れ 八月二十日

おとぎばなし 鸚鵡と雀

あるお邸のお座敷のお縁端に、鸚鵡の籠が吊してありました。鸚鵡籠の鸚鵡は、なか〳〵人の假色が上手であります。

『今日は』『失敬』『お芽出度う』『いらつしやい』『さようなら』『お花さん』『御飯有う』こんな言葉は、自由自在に使へました。

『何といふ人の假色の上手な鸚鵡さんだらうね。餘程舌がしつかりしてゐるんだね』

と鸚鵡の假色を聞いた鳥どもは、みな感心して、かう言つてをりました。その鳥の中に、いつも鸚鵡籠の近くまで遊びに來たり、餌を拾ひに來たりして、鸚鵡の假色に感心してゐる一羽の雀がありました。

雀はいつも鸚鵡の上手な假色を聞くひとに

『おれも一つ人間の假色を使つて見よう。』

とかう思ひまして、『失敬』『今日は』などゝやつて見ましたが、どうしてもうまく言へません。今日はと言はうと思つても、出て來る言葉はチユウ、チユウ、チユウチユウ!!

『これはいけない、駄目だ、駄目だ〳〵。』

と殘念ながら、雀は、もう假色使ひは止してしまはうかと思ひました。けれども鸚鵡の上手な假色を聞くと、又やつて見たくなるやつて見るといつも失敗?

『これは一つ鸚鵡さんにお稽古をして見たらどんなものだらう。さうだ〳〵それに限る。お稽古をしたら、きつとうまく人間の假色が使へるやうになるに違ひない。』

雀はかう考へまして、ある日鸚鵡籠の傍へやつてまゐりまして、

『鸚鵡さん、今日は、御機嫌よろしう』

と言つて挨拶をしました。鸚鵡は雀を見て、

『や、雀君、お出でなさい。君はいつ見ても忙しさうだね。』

『ね、もう忙しくつて困ります。就ては人間の假色を使つて見たくなつて仕様がありませんから、どうぞ教へてやつて下さい。私ひとりでやつて見ますが、どうもうまく使へないで困つてゐるところです。』

『さうかね。それでは私へて上げよう。失敬、サンキユ、今日は、いらつしやい、お芽出度う、お花さん、豆腐ウイ、萬歳!』

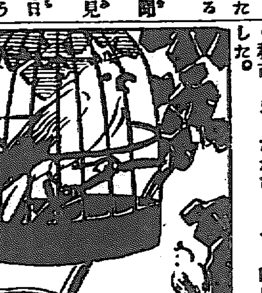
『あ、むつかしい、チウ、ウウ、チユウ、チユウ!』

『いけないよ。チウ、チウ、チユウ、チユウ、それはお前の鳴聲だ。人間の假色は失敬、今日は、サンキユウ……』

『待つて下さい鸚鵡さん、さうしても私には駄目です〳〵。とてもいけません。』

『それがいけない。駄目だ〳〵と言つてゝは、いつまでも駄目だよ。さあ、やつて見なさい。失敬、お花さん、今日は……』

雀は一生懸命に人間の假色を鸚鵡から稽古しましたがどうしても駄目でした。



鸚鵡もとう〳〵根負けして、

『雀の舌は、人間の假色使ひには駄目だと見えるよ。見込みはない〳〵』

『きつとさうでせう』いよ〳〵止めです。骨折り損の草臥儲けでした。

と雀はとう〳〵假色の稽古を止してしまふことにしましたとさ（をはり）

黒髪一貫目が僅かに三圓 昨年より勝つた

◎戰國のみじめさは窮乏の餘り、母親がわが娘の髮までも切つて賣代にしてゐるといふ、聞くも哀れな情報が、露都から最近參りましたが、さういふ異國の事は別としましてわが國で

◎女の髮を賣買する髢屋は一體どういふ風にしてその髮の毛を商品とするのでせうか、或髢屋の話しに依りますと、あの髢にする髮の毛は先づ紙屑屋が屑と一緒に買つて來たものや、田舎廻りのボロ屋が買ひ集めたものが、追々と立場（問屋）へ集まつて參るのです。それを撰子（主にお婆さん）が毛と他のものと撰り分けて役に立つだけのものを取出します。その毛のことを玉毛（又は落毛）といひます。

◎玉毛の相場は只今は一貫目三圓昨年よりは一圓方高くなつてゐます。廿年程以前はたゞの廿錢でした、さてその玉毛を下ごしらへをする職人が問屋から買ひ取つて、マンガといふもので梳かし、更に立マンガで揃へてから染めます。次に色々な洗料で洗つて綺麗にして、すつかり消毒をします。其上で長いのと中位のと短いのと六種程に揃へますが一の毛と云つて

◎最も長いのが一貫目十五圓、最も短いあの梳毛は三圓八十錢位します。値段にも上り下りがあつて例年九月から上つて十二月は頂上の處ですが、今年は八月から上りました世間一般の景氣がよろしいと、需要が多いからでせう從つて今年は髢の値段も上りませう一體に絹糸の値段の高い時は髢が妙に高くなります製糸地方などの

◎景氣がよい爲めに地方へどん〳〵はけて行くからです明治十七年頃から三十四五年頃までは支那毛の輸入が盛でしたが二三年前全く絶ねてしまひまして又近頃少し宛入つて來ました日本の毛よりはどうしても劣りますしかし赤熊は支那に限りますので今も澤山輸入されます

赤熊は犂牛の尾と毛とで拵ねたもので拂子や槍の飾もそれで作りますす。縮毛といつて普通の（前髮の心）にするやうなのは

◎赤熊を眞似て 普通の毛を縮らせたものですが、洗ふと伸びてしまひます。下ごしらへをする職人は、三の輪、南千住、下谷の龍泉寺町のやうな紙屑問屋のある近所にありますが、かもじやは其處から仕入れて、島田の小枕付、鬘古返の細根

小枕付、東髮用、髱髮、髮髮などいふのに拵へるのです、二十年も前までは、今のやうに分業になつて居ずに、かもじ屋が玉毛を買ひ入れて拵へたものでした。

◎昔大名の大奥 などで使つたあの六尺もある長かけや、中かけといつたのは、あのやうな長い毛を用ゐたのでなくて、中心の處で毛で繩を綟つてそれから毛を出したもの

です。全國のかもじは大阪東京の二つに分れて居りまして箱根以北は東京を中心として居り以南は大阪が中心です（東京）

嶄新なる家族的清遊!

往汽車 復電車 廻遊觀月會

金風吹き初めて一碧の秋空に月皓き秋初十五夜。來る九月一日（土曜日）の夜、我京城日報、毎日申報兩社主催を以て、嶄新奇拔なる計畫、臨時特發の廻遊觀月列車を運轉す。車内には酒保あり置酒歡語の裡に

△冠嶽山上の月 △漢江々上の月 △蠶島平原の月 △月坡亭の月色 △西氷庫岸の月 △清涼里の月色

を眺賞し。猶は城東の勝地清涼里を觀月會場に充て。其所には相當の設備を施し大日本ビヤーホールを始め蕎麥、壽司、お汁粉等の賣店を設け。餘興として

◎郊外活動寫眞 ◎洋樂隊演奏

あり。松籟瑟々！蟲聲喞々！一夜の清遊能く一年の壽を延ばす可く。猶本會の計畫規定は

◆九月一日（土曜日）晩餐後午後七時四十分迄に南大門驛集合 ◆同五十分より乘車正八時發車 ◆同四十五分清涼里著 ◆同十時より電車にて任意歸途に就く ◆會費は汽車電車賃共一人卅五錢滿十二歲以下は廿錢 ◆會員は老若男女何等制限なし

奇拔なる廻遊的觀月!

奉天より

十八日 鶴田樑村

○愈々當地にて冬籠り仕る可く覺悟致し候。

○未だ冬の事など餘り早き話に有之候へども、みつちり滿洲の生活を寫して見たき希望に候へば、そろ〳〵用意致さねばならず候。

○朝夕の涼しすぎるを感じる程、冬を思はざるを得ず候。

○輕裝作するに適當なる家なきこと殊る閉口にて候。

○田園の生活は何處も同じ樣にて、殊に露西亞の農民とは、甚だ似通へる點を思ひ候。

○一輪車、牧羊の樣、支那車など、皆露西亞と大差なく、大陸に生きるものは凡て自然に一致するものかと考へられ候。

○此頃は毎日屠殺場に參り、動物研究を致し居り候。

◎家庭料理講習 京城南大門内の女子技藝學校で開催した家庭料理の講習は前後二回とも頗る好評であつたがまた〳〵來る廿二日三日の兩日開催されることとなつた、時間は朝の八時から正午迄で會費は材料費とも一人一圓五十錢、講師の居堀氏は内地の小學校女學校を巡講した人で極く簡單なお手輕の料理法を教へて呉れるから誰れにも早速實用することが能きる、猶同回のは主に手輕向きの簡單な調理法を教授する由申込は技藝學校へ（電話一七八九番）

渚の砂

■下宿屋荒しの熊 東京深川區能中島町國田ふみ方投宿中の熊の曲馬賢り山上林猛が連れてゐる一頭の熊が十四日夜逃げ出して打續りの下宿十軒生節に闖入し亂暴狼藉を働き二十餘名の下宿人は避難の爲め大騷ぎをなし器具等悉く破損された

■装飾に火繩銃 此頃米國から日本へ火繩銃の注文が夥しいので取調べて見れば米國では装飾用には日本の古武器を歡迎し火繩銃は窓掛の心棒に使用するのださうな

■稀代の大山椒魚 伊賀の赤目の瀧で去る六日長さ三尺四寸重量二貫八百目ある山椒魚を小學生徒等が生け捕つたがなか〳〵見物人が多い

■模範店員 伊勢桑名寺町運送業杉山和吉（二〇）は主家阪口芳吉一家がいろ〳〵の不幸續きで二年間一文の給料も取らず家人を介抱し立働いてゐるので町内では模範青年だと賞揚してゐる

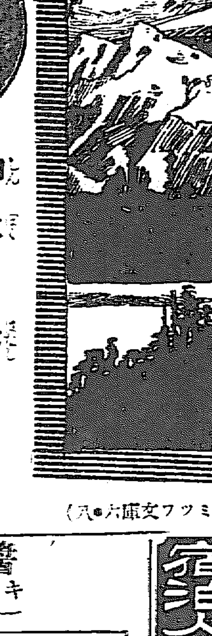
■子爵家荒し賊 東京府下北松山町居住の中野孫三郎（三四）は十四日夜本所表町子爵久世廣英氏から七百五十圓計りの金品を窃取し神田で豪遊中を格鬪の末警官に逮捕された

■不義者の情死 愛知縣愛知郡、稲村岩井千藏（二四）は名古屋市西區澤井町加藤安次郎方に奉公中安次郎妻おわ（三五）と不義の關係を結び良心の苛責に堪へず相携へて脱け出し十四日岐阜市安良町で汽車情死を遂ぐ

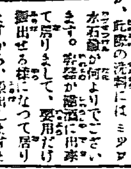
神木の話

父の百姓神木の祟にて死す 子の大工祠を毀ちて復仇す

中村吉右衛門談



お社に入ります路はよく大木の並木に茂茂して居つて見るだけでも涼しいものでございます暑い時ですからそれに因みまして神木の話をいたしませう此は敦賀の田舎にあつたことださうですがその土地の或る百姓の田地が産土の土地の隣にありましたさうですが此田地に近い處に神木の松がありまして此枝が田の上に覆ひふさがりまして收獲が至つて少ないそこで此の田地を持つて居る百姓が大困りに困りまして田にかぶさつて居る枝を伐り去りましたそこで神樣が大層祟をなされてそれが爲に此の田地の持主は終に死にました此の人の子が幼い頃から江戸へ上つて大工に弟子入をして居りましたが此時はもう大工で渡世が出來る程でした父が病氣と聞いて急いで郷里へ歸つて來ましたが父はもう死んだ後でした在所の者が斯樣々々の事で神罰を蒙つたのだからお前お詫を申し上げて後の祟のない樣にしろとすゝめました此を聞いた子の大工は立腹して甚だ以て不義非道の神だ産土神は親父の田地の上へ神木の枝を差出して收獲の邪魔をしたから親父が切つたのだそれに命を奪るとは非義横道と云ふものだ世の諺にも氏子一人は植木千本にも代へないと云ふのが神の誓とされて居るではないか正しく親の敵だから此儀には赦して置かないと祠へ行きまして鉈や大槌などで散々に祠を叩き毀しすつかり拂ひ棄て此後お祭なんぞする人があると共人を親の敵と思ふぞよと止めて江戸へ歸りました在所の者も言ふ處に道理はあり恐ろしい見幕なので四五年の間は神事もなくて過ぎましたがさて他の村には氏神の祭があるのに自分の村だけは氏神がつぶされて神事がないので相談の上彼江戸の大工に村中から詫を入れましたら此大工も打解けまして自分も大工のことだから一つ手傳をしやうと云ふことで江戸から歸つて來て亡父の墓へお參りをして社をもとの樣に建てまして年々の神事も此からは行ふ樣になつたと云ふことでございます此頃の暑さには中々弱りますがその代り夕暮一風呂浴びまして涼しさを汗と一所に流しまして涼しさうな話をして居りますと生き返つた樣な心持になります此の入浴の際の洗料は皮膚の營養を助けるミツワ石鹸に限りますミツワ石鹸は專門家に伺ひますと不純な混合物のない遊離脂肪のない遊離アルカリもない化學上の純石鹸であります上に原料にはいゝ脂肪を使ひ日本人の皮膚の生理狀態に適ふ樣に研究し精製された理想の石鹸でございまして水にも湯にもよく溶けて雪の樣に白い泡沫が氣持よく立ちますから此をお湯で濡れた皮膚に塗りまして靜かに撫でますと汚垢は此の石鹸の作用で吸はれる樣になつて此の泡沫に混りますから之れをお湯で洗ひ流しますと汚垢はさらりと流れて皮膚は清潔になり機能は健やかになつて皮膚はいゝ色澤になり白粉ののりものびも宜しくなります



▲中村時藏曰く お出かけにお化粧をします時一わたり、顔から、首筋とお洗ひになりますことですが、此際の洗料にはミツワ石鹸が何よりでございます。お化粧が滑に出來て居りまして、要用だけ顔出せる樣になつて居りますから、顔出しますと、いゝ芳香と一所に細かい泡沫が立ちまして實に使ひ心地がよく、使ひました後には白粉ののりものびも無類によくなります。

（ミツワ文庫六・八）

る京城府……李徳順より身の代金として百二十圓を受取りたるも抱主にれ一切を秘して件の金を所持中七月……金の内二十圓だけを其の旅費に……騙取したる爲め關係者は李徳順告訴され士根、明善の兩名は本町警察

……夫、同貞子、木村彌太郎、外人六名、……若狭光三郎、林田長太郎、松浪……文次、同たま、岡諸子、田中利草、同たつ、同道……吉、古賀榮六、新川いと、同つる子、安田尚次郎、同よし子、赤城政三、黒田龜太郎、中村武……久米作……三郎、外人一名、天田はつ、圓……

二等客

十八日午後九時釜山入港さくら丸 一 三等（二百四十九名）

△……日から……同廿一日 同 廿二日
△一日前 同廿二日 同 廿三日
△下……の付から 同廿三日 同 廿四日
△指の…… 同廿四日 同 廿五日
△所…… 同廿五日 同 廿六日

……一週間以内に到着……投書者には五十錢書料を呈す（……何書何號と明記に限る……宛名は京城日報編輯局讀者文藝係

新築移轉

今般左記の處に移轉從前の通り診療に從事仕候

京城明治町一丁目九番地（佛國西教會堂下）

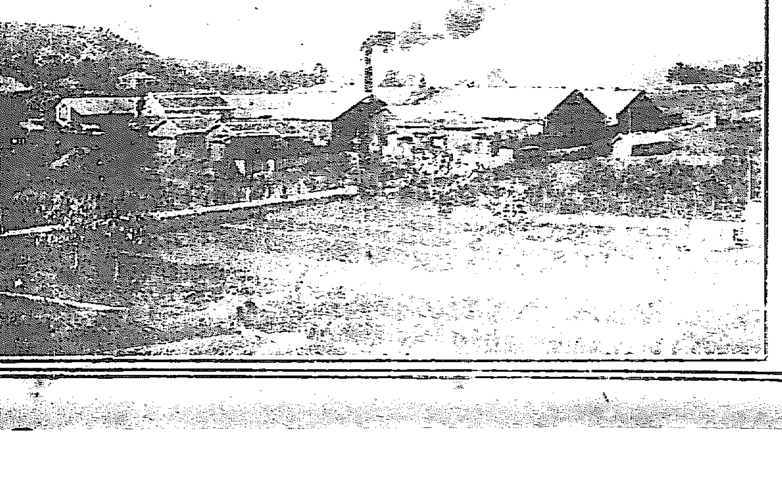
贊化病院

電話 二四番

醬油味噌界の覇王

キツコーウリ醬油 ほまれ味噌 釀造元

（仁川港日本醬油株式會社工場全景）

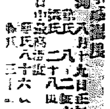


報

宿泊人名簿

百枚一冊 四十五錢 送料共 前金に限

京城明治町二 電話長一二八九番 瀬川中央堂 振替京城二〇四五番



汽車

[illegible]

左甚五郎

第二席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

飛驒内匠は青くなつて逃出さうとすると、奥から出て參つたる河成が 河『オイ〳〵内匠、逃げるには及ばない、さア上んなさい 内『オヤお前は河成か、座敷の内は血だらけで何うしたのだ 河『何もありはしない、心配せずに上んなさい』と云はれて内匠が恐々ながら上つて見ると、今見た女の死骸も無ければ何事もなく清潔になつて居ります故不思議に思ひ 内『是は妙だ 河『何が妙だ 内『今此處に女の死骸があつた 河『あれを見て驚いたか 内『驚いたの何のと云つて命を三年ばかり縮めた 河『何うだ見たければもう一度見せて遣らうか』と河成が後の障子へ手を掛てサッと開くと其處に女の死骸がある、是を見て内匠は驚き 内『此の死骸は何うした譯で 河『何うした譯でもない、俺が描いたのだ 内『何にお前が描いたのだ、ウーム畫か』と云つて能く〳〵見れば死人と思つたのは壁に描いてあつたのでございます 河『是へお前が御當つたのだ 内『畫と思へば驚くのではなかつたが實物と思つたから驚いた』と飛驒内匠が熟々見たが見れば見るほど宜く描いてある、内『何うも貴公は名人だな 河『過般お前が堂を造つて俺を驚かした故其の復讎に畫を描いてお前を驚かしたのである』と云つて果は互ひに打笑ひましたが、昔の人は道臆ことをして喜んで居たもの、内匠も河成も其の職は違へど名人同士、互ひに身の終るまで美しく交際をしたといふ此のことは今昔物語の中に出て居りまするが、然て見ると飛驒内匠の前に京都に内匠といふ者があつたものでございます。然し是は昔のことで絶ねてしまつたから飛驒の内匠を以て初代としてございます。其飛驒の内匠より三代目の内匠の弟子が甚五郎でございます。初代内匠が木曾の掛橋を架けて名を天下に知られる様になつたので。此名前は足利將軍義政公より給はりましたのでございます。木曾の掛橋は昔から幾ら架けても〳〵落ちてしまひます。然うでございませう橋杭を打つことが出來ないのですから橋が保つべき譯のものではございません。然るを勅命を蒙つて初代の内匠が架けましたのであります。それからといふものは木曾の掛橋が落ちたことはございません。然て見ると餘程巧なものであります。現今工兵が戰地へ臨み橋無き處へ假に橋を架けるのは此の木曾の掛橋を手本にして架けると申しますから内匠の功は大したものでございます。芭蕉翁が此の橋を渡らうとした時に流石に驚いたか後へ退つて詠んだ句に

掛け橋や命もからむ蔦かづら

と云つた位であるから餘程危險な橋と見ゑます。此橋を架るに就て初代飛驒内匠も途方にくれて考へて居りまする時に女房のお大が其處へ來て 大『お前さん今度禁裏よりお召になつたと云ひますが其御用といふのは何でムいました 内『イヤお大他でもないが聞いてくれ。今度禁裏より此の内匠へ御用と云ふのは木曾の掛橋だ 大『ハイ 内『お前も知つての通りあの橋は何度架けても落ちてしまふ。今は誰も架ける者が無い其故に此の内匠に工夫をして架けろといふ御勅命、けれども何分にも工夫がつかない、架けて見た處で又落ちる樣なことでは俺ばかりではない、朝廷の御眼識違ひとなる。さりとてお斷りをすれば違勅の罪は輕からず。それが爲に心配をして居るのだ 大『それはマア御心配でせうが、何とか工夫をなされたら宜うございませう』と女房お大も共に心配をして居りました。

笑顔見たさに
木村屋パンの
みやげ片手にいそ〳〵と（京城明治町 電二八七〇）

九星 八月廿一日 舊七月四日乙未 本命八白 艮 閉 角宿

▲八白 約束なき嘲多き日新事 見合縁方は吉 ▲九紫 傭役の事有日轉居入學等皆吉 利有女子は一層よき事有 ▲一白 見込のたゝぬ事有日新事手控諸事は吉一切の賭事せぬがよし ▲二黒 折合のつかぬ事有日新事手控諸事は吉 行倩の口入等なす ▲三碧 物の破れた意味する日新事手控諸事は吉 謹て行儀作法を守るべし ▲四緑 色情の縺れ 失物用心の日新事手控爲事御職は勿なし ▲五黄 武張損の事有日新事手控日轉事は吉的散財を防ぐべし ▲六白 消炎の日轉居開業求職名出殊 結婚圖大なる金融を計る等皆吉 ▲七赤 寶劍の日轉居 行商入舟 名弘出 造探 鑛金件婚禮造船業等 萬吉

京城府明治町二ノ三二（元宮藥舗跡）
花柳病
皮膚病
須古醫院
電話二一〇二番

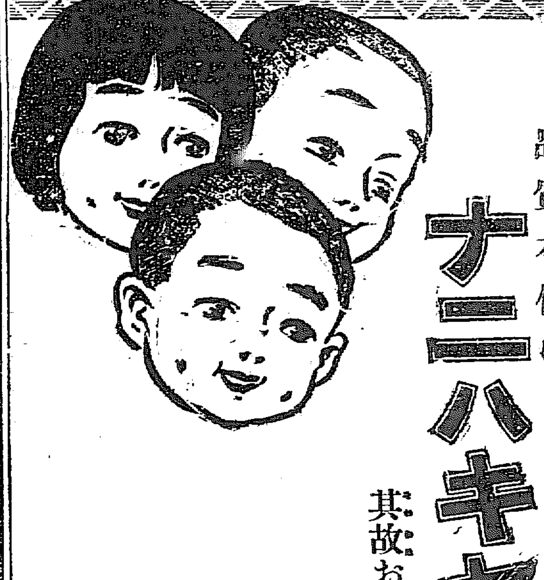
品質の純良を以て多大の信用と賞讃を博しつゝある
高麗人蔘エキスは
京城府明治町一丁目
小笠原大藥房
電話一九四八番 振替京城三七五三番

●マラリアに一番
ヨクキククスリハ
龍山林藥房製劑の
マラリア特効丸
價 金十錢三十錢五十錢へ郵税二錢
（注）ニセモノアリ御注意
本舗 龍山 Ⓗ林藥房
代理店 京城本町一丁目 合資會社 山岸天祐堂
代理店 釜山辨天町二丁目 大黒南海堂

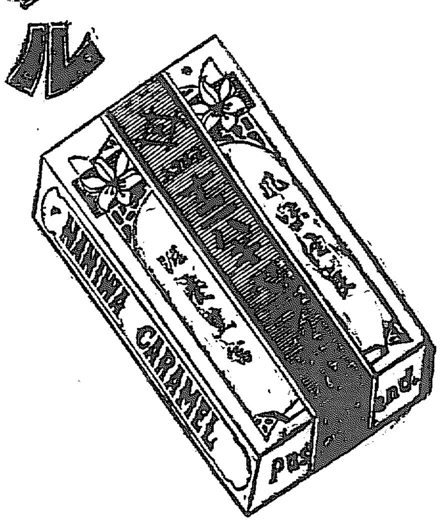
香り床しき
金鈴香水
美髪となる
金鈴香油

赤毛を生ぜしむるの憂ひ絶對になし
レートーポマード

此の新煉香油生れて男子にはコスメチック、女子には鬢附は全く不要!!
それ程附け工合といひ、艶といひ、匂といひ一點の非のない最新式の煉香油です
東京 平尾賛平



夏の間食には
一、消化が良くて腸胃を害せず
二、疲勞を恢復して滋養に富み
三、風味佳良にして誰にも好まれ
四、携帶に便利で衛生に副へる
品質本位の
ナニハキャラメル
其故お子達のある御家庭へ
中元暑中の進物品として
交際社會の好評を博して居ります
北鮮發賣元 仁川京町 福西製粉所



定價
大 拾錢
小 五錢
進物用 壹圓五拾錢

製造元 大阪浪速製菓所 多久島辰次商店

寫眞
寫眞出張撮影
寫眞銅版、亞鉛版
最も熟練せる技術を以て最も廉價に迅速と可的親切を旨とし御需めに應じ候
京城日報社 寫眞製版部

今東京で大流行の
ワヅカ一滴百日薫る百花の精の元素香水
ゲンソ香水一丁先でも薫りで知れる元素香水つけた人とは一般の定評なり全國の藥店小間物化粧品店に販賣す近所に品切の時は直接本舗へ郵便切手代用御送附あれば送品す送料内地八錢海外廿錢
ゲンソ液元素香水本舗 東京神田和泉橋際 松本榮店
小瓶三十錢 中瓶六十錢 大瓶金一圓 特大瓶金二圓

THE Kentsuguwan

健通丸に就て學者曰く
原藥の精良配劑の巧妙共に人爲を盡し眞に斯界の名譽を占有するものなりと
健通丸の實驗者曰く
如何程きつい便秘でも腹を痛めず快く通じて決してクセにならぬのが此藥の特徴です、隨つて腸胃を整へ習慣的便秘の方も下劑を要する度合が自然に減じます云々

健通丸主治効用
▲大便秘結 ▲消化不良 ▲逆上 ▲腹中雷鳴 ▲肩の凝 ▲肚腹膨滿 ▲口のあれ ▲溜飲 ▲惡心 ▲痔疾 ▲頭痛 ▲耳鳴 ▲水腫

定價
十八日分 金五十錢
十日分 金三十錢
六日分 金二十錢
二日半分 金十錢
全國各藥店に販賣す

大阪 合名會社 參天堂藥房 發行

京城日報
八月三十日（夕刊と合せて八頁）
本紙定價　一部金二錢五厘　一ヶ月金五十錢
發行兼編輯人　奧田直　印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社

第三版

▲濠洲の禁輸入

▲京城市債募集

世界一周通路建設の理想 ハリマンの雄圖

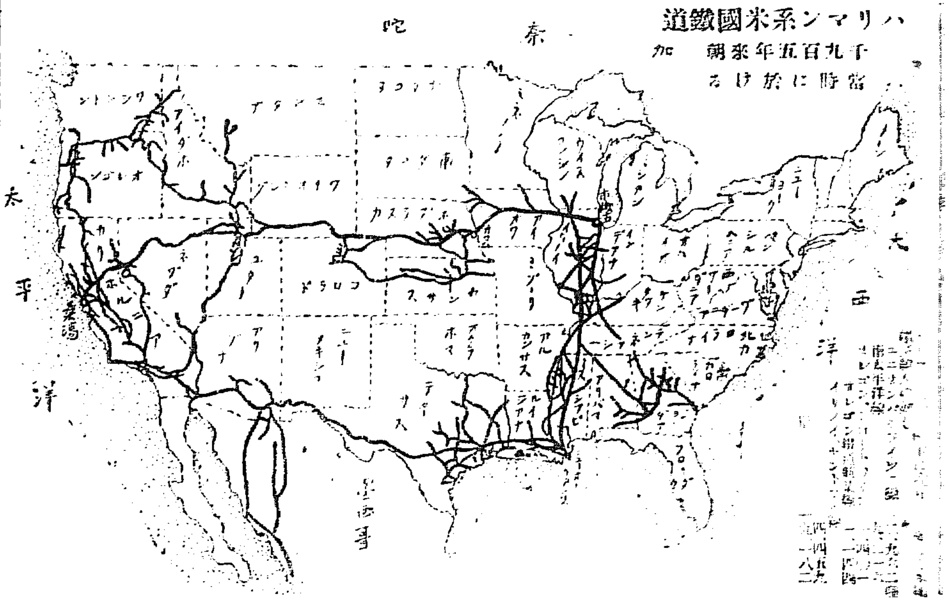
米國の滿鐵司配は竟に一場の夢なりき

旋風的運動 運動効を奏す

ハリマン氏の極東漫遊は、切り詰めた日程で、長からぬ時日の間に、日本を訪ふた其上になほ支那にも朝鮮にも行きたいといふのであつた故、此旅行中の最も肝腎な用向たる、世界一周通路開設上當面の緊急問題である所の、彼の滿洲鐵道支配權の交渉を、日本で緩々して居る暇がなかつた。乃で、彼は短時日の滯在期間を利用して、旋風的運動を開始し、東京に於て、日本の朝野有力者を出來得る限り汎く訪問し、會見の上膝詰談判的に、自己の意見を披瀝して、最も迅速に且つ有効に話を進めて行く事に努力の限りを盡したのであつた。九月一日より同十三日までの間に、彼は桂首相を始め内閣各大臣、伊藤侯、大隈伯其他多數の政界巨頭と會見を遂げ、又財界の有力者を歷訪して勸説に努めたる結果、其の世界的交通政策に對し、多數の贊成者を得、其の計畫に助力を與へやうと約束した人の姓名を記録に控ねただけでも、相當の數であつた。興業銀行總裁添田壽一氏の如きは、最も熱心なる贊成者の一人であつた。斯くて彼れは僅かな時日の間に、殆ど爲し得る限りの事を爲し終せたので、九月十三日に一行は京都神戸方面に向ひ東京を發した。南滿洲鐵道經營問題に關する此上の交渉については、グリスカム公使と添田興銀總裁の能手に依頼して置いて、彼は西下したのであるが、依囑を受けたるグリスカム氏は、素より此問題は東洋に於ける米國の最善の利益に關する事であるから、ハリマン氏の計畫を是非進捗せしめたいと考へ、此計畫が日本にとりて頗る有利である所以を諒解せしめんとて熱心に日本の官憲に勸説した。グリスカム氏は、日本の商官と此事を商議するに當り、二十年以上も日本政府に雇聘せられて、官憲政治家の他に多大の尊敬と信用を得て居つたるダブハム、ダブリユー、スチーブンス氏の一方ならぬ助力を藉つたのであつた。

好調に進捗す

ハリマン氏は十月八日再び東京に歸つて來た。其時には例の問題は餘程進捗して居た。日本の當路者は、ハリマンの提議條件に對し、未だ之を承認せざるまでも充分に之を了解しつゝあり、機會は頃合に熟して居る際であつたので、ハリマン氏は最後の三日乃至四日間に於て獅子奮迅の活動をなし、其の努力空しからずして、遂に滿洲鐵道を日米合辦にするといふ處まで協議を進め、細目の協定も遂げ、日本政府との間に覺書を作成するまでに事を運んだ。彼は滿洲鐵道を買收して一手に之を經營せんと欲したのであるが、大勢は日米協同經營の已むなきに至つた。乍併、其れを以てしても尚ほ成功である事は勿論である。彼れは最善を得ないと[illegible]して、次善を得、然かも甚だ心滿足に堪へなかつたのである。



ハリマン系米國鐵道
千九百五年來朝當時に於ける

大連東京 直通電信線 明年十月頃開通

各種事業の勃興に伴ひ近來内地大連間の通信は著しく頻繁を極め就中電信利用の激增は大に注目に値するものあり即ち從來佐世保大連間の海底線及び京城經由の陸上線とを合し一日の通信數平均三千通以内に過ぎざりしもの本年に入りて急激に增加の傾向を來し昨今の通信數は一日平均四千五百通以上の數字を示しつゝあり從つて現在の儘の通信能力にては到底今後其要求を充たし通信の敏速を期する能はざる狀態なるを以て關東都督府通信管理局は擧て其應急策を講ずべく專ら苦心研究中の處

△大連仁川海底線を敷設

此程愈々海底線の增設に決し最初は仁川より陸上線を新設して東京間直通電信の取扱を爲す計畫なりしに時局の影響を蒙り甚しく建設材料の騰貴を告げ[illegible]の如くならざると共に巨額の經費を要し到底局限されたる一定の豫算範圍にては實行不可能の有樣なれば該計畫を全然變更し陸上直通線一線增設に決定したるを以て遞信省と協議の結果本省の容るゝ處となり右經費を來年度の豫算に計上する事に決定せり

△大連東京間直通線の增設工事は來年度早々着手の筈にて該工事並に經費は京城大連間を關東都督府通信管理局の負擔と爲し京城東京間を遞信省の負擔として各區分し兩者同時に工事に著手すべく且つ滿鐵線を除きたる陸上線は現在使用しつゝある既設の電柱を利用し增設すべきを以て全工事の竣工に要する時日は約半年位にて充分なりといへば遲くも明年十月頃迄には新線の開通を見るべく斯くして通信能力を發揮するに至らば從來通信の輻輳より來る澁滯遲延の爲めに困難を感ずるの憂なきに至らんと遞信管理局當局者は語れり

誰（42）　布施生譯

鈴富は老人の言に從つて其日悉皆家財を賣拂つた、そして米國へ往くと友人仲間に暇乞して老人に從ひ大佛屋旅館に引籠つた、其夜寢床に就かうとして窓を開けると風が一吹吹きこんで、窓縁の後から不思議な紙屑を吹落した、何氣なしに拾つてみると驚いた、それは紛ひもない美那子の手蹟で、單蹤の分らない破手紙ながら、

『八島樣のことにつき、大切なる申上度——惡計の罠にて——鈴富樣まで——親友と思召され——實は——に懸想——』

× × × ×

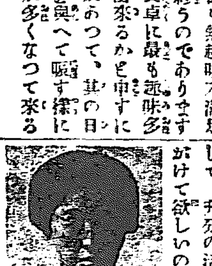
茶屋町にカフエ、マコトと云ふハイカラ喫茶店がある。鈴富は放免になつた翌日老人との約束に隨ひ午後四時少し前に此處へ來て待つてゐた。珈琲の時間は過ぎてアブサントの時刻にはまだ早い、丁度中間の時刻なので客足は疎らに店は空いてゐた。時計が四時を打ち始めてまだ鳴りきらぬと思ふうちに老人は飄然と姿を現はして、鈴富の卓に近づいた、そして[illegible]を叩きながら『どうかな、[illegible]』[illegible]『[illegible]』、それは結構、時に[illegible]、手筈は[illegible]調べましたぞ、今日は汝と此處で或人に出會ひます、其人が來るまでに八島どんな、あの君の大事なお友達の八島どんの事に就て少し聽きたい事がありますのぢや』八島どんとさも態と馬鹿にしたやうな言葉にも昌は今日は何にも言はなかつた、實は昌の胸にも八島の事で少々疑念が萌し初て居たのである『八島は保部樣の與樣と同じ經理です、サンレミイ生です』『それに相違はありませんかな』『相違はございません、私も本人の口から其樣聞きましたし、保部樣にも確かそう申して居りました、何でも八島の母親が保部樣の與樣の從弟妹だとかいふ事です』『[illegible]か御遠慮がやありませんかな』『そんな事はございません』『ふうん、してみると、これは途方もない妙な事だ』や老人は故意と嘘情な風をして見世物の口上を真似てみせた『東西之がサンレミイの市景色でございます、此處は人口約六千、名物は噸泉と石炭取引所綿絲製造所、何れも御見物にはお代には及びませぬ、其外凱旋門希臘博物館もある、處でないのは八島泉と云ふ舊家、これは正直正銘鉦や太鼓で探してもございません。』昌が呆れた顏を見て老人は莞爾『どうぢやな昌樣、私の隱藝は、二三日すると私は一寸活躍を勸めてみやうかと思つてるんぢや、左樣少し趣向があつてな、いやそれはいゝが實際あの市には八島といふ家は絶對にありませんぞ』『はてな、しかし御老人私の方には證據がございますが』『證據？』證據なんかと云ふものは何でも手作りに出來るものぢや、實は昌樣』老人は懷中から何か罫紙に書いたものを取出して『八島と云ふは舊家にて百年ばかり前メランの町よりサンレミイに移り此處に居を構へたるものなり。』と讀出した。

料理屋遊びが止んだと 板垣伯爵夫人語る

『女は小兒の敎育と、料理と、裁縫とが上手であれば其れで充分である』と、よく斯う言はれますが實際料理は女に最も必要の資格で、これに精通して、日日の食卓を賑はす事は、家庭和樂の秘訣であります。一家團欒の樂みは人生に無くてはならぬものであります。世の中が忙しくなつて來るに從つて、この團欒の機會も尠くなつて來ますが、私は家人が一日の激しい務を終つて、一家集うて夕飯の食卓に向ふ時が、一家團欒の樂みに耽るには最も良い機會と思ひます。此の場合に若し食卓に趣味が無かつたなら、折角の機會も無趣味不滿足の間に過ぎ去つて終うのでありますから然らば如何にせば食卓に最も趣味多からしむることが出來るかと申すに主婦に料理の智識があつて、其の日其の日の食卓に變化を與へて賑す樣にしたなら必ず趣味が多くなつて來ると信じます。

主人が常に家を外にして料理屋遊びをする或る家庭で、主婦は種々に思ひ惱んだ揚句、フト思ひついたのは料理であります。而して熱心に習ひ覺えて日々品を變へて食卓に趣味あらしめ、夫をして家庭の味を充分に覺らしめた結果、夫の料理屋遊びは其れ以來フツツリ止んだと云ふ實例は私の知つて居る所であります。

如何にせば經濟的に料理されるか、如何に料理せば最も營養價値が多くなるかを研究すれば、料理研究の目的は達せられるのであります。故に料理を研究すれば、不經濟どころか、日々の食事が經濟的になり、然も美味にして、滋養分を多く攝取する事が出來るのであります。昔は上流婦人になる程、自ら料理をするを恥ぢると云ふ風がありましたが、私は新時代の婦人は是非料理を研究して、一家の和樂をはかると共に、日々の食事を經濟的ならしめ一家族に美味な滋養ある食事を供して、充分の活動をなし得る樣に心がけて欲しいのであります。』



東京割烹講習會々長 板垣伯爵夫人

料理研究の好侶伴

料理研究が家庭の主婦に必要な事は別項板垣伯爵夫人の談話の如くでありますが、偖て料理を研究して見やうとした所で、如何にせば最も早く其の目的が達せられるかと云ふ事になると、何人もお迷ひになる事と思ひます。東京割烹講習會は、板垣伯爵夫人が、我が國の家庭の主婦に料理を研究せしめんとして設立されたものであります。然しながらお忙しい家庭の婦人方が料理學校に通學する事なぞは、事情許す可らざるものがありますから、本會は家庭婦人がお宅に居ながら料理研究が出來る樣に、毎月講義錄を發行して料理研究の便宜を開いて居ります。其の講義錄は在來の通信敎授など、異なつて、本會には附屬の料理[illegible]があつて、斯道の專門大家が日々季節に合つた料理を實地に敎授したものを載せて、總振假名の平易な文章で、何人にも分り易い樣にしてありますから、此の講義錄を讀めば、日々學校に通つて實地に敎授を受けたと同じ事になります。而して講義錄の内容は、あらゆる日本料理、西洋料理、支那料理、和洋菓子の製法、家庭[illegible]法、食品に關する研究事項、野菜の栽培等、料理に關する一切を網羅するのみならず、又附屬の禮節研究會の研究になる婦人の是非知らなくてはならぬ禮儀作法を、委しく解説圖を入れて、手を取る樣に敎へたものが載つて居ります。此實益ある講義錄をお取りなさらんとする手續は至極簡便で、ハガキに講義錄送れと書いて申込めば、直に會員として毎月講義錄を送り、會費は後から毎月其地の郵便局から集めに參りますから何の手數もありません。會費は一ヶ月三十五錢、半ヶ年一圓九十五錢、一ヶ年三圓六十錢であります。會員は講義錄の配附を受くるのみならず、質問が自由に出來ます。而して六ヶ月會員となつて居れば修業證書を與へ、一ヶ年會員となつて居れば卒業證書を與へます。目下會員募集中で、此の際入會の方には種々の特典があり、又半ヶ年會費前納の方へは「家庭寶典」を呈し、一ヶ年會費全納の方へは「婦女通鑑」及び記念メタルを呈します。尚ほ內容見本御入用の方へは無料で御送りしますから、遠慮なく

東京本郷元町一の三
東京割烹講習會

へ申し込んで下さい。本會は振替口座東京九四四〇番、電話下谷五六九六番であります

物品賣却
一 第一號 古金物類 參五點
一 第二號 雜品製服類 貳六〇點
一 第三號 古銅類 六本
第四號以上當局倉庫ニ於テ八月三十日午前拾壹時迄入札ニ付シ同日同時開札ス
右物品賣却ノ件ニ付詳細ハ經理課ニ於テ承合ノコト
大正六年八月拾七日
南滿洲鐵道株式會社 京城管理局

債權催告
當會社解散候に付き當會社に對し債權を有せらるゝ方は大正六年十月五日迄に御申出相成度候若該期間內に御申出無之時は其債權は清算より除斥せらる可く候
右催告候也
大正六年八月三日
朝鮮畜產株式會社
清算人 阪東國八
清算人 織居加六
清算人 河島乾一
清算人 北原利男

愛山山路彌吉著 支那論 （定價六十錢 郵稅六錢）四六版全一冊三百三十頁
世界人口の四半を有する大國支那の現狀は今如何ぞや。一亂治まつて一亂又生じ、內政の紛糾、外交の危殆、實に名狀すべからざるものあり。支那研究の盛なる又故ありと謂ふ可也。然も本書は、著者最新の一大著作にして、支那の國家及び民人を歷史的に觀察し、過去現在及び將來に關する日支關係論あり、支那人の國家的觀念及び滿漢兩人種の史的評論あり、『每次革命の眞相及び傑物袁世凱等に關する政治的評論あり、持論悉く正鵠的確、文章亦活達流暢にして、現代支那に關する研究論評中實に最高權威の著作たり。別に『代議政體と支那』『鄭成功論』を附し、卷首には『與黎元洪書』、卷末には阿片戰爭以後の詳細なる年表を添ふ。今や支那の內治外交愈々益々多事ならんとす。一衣帶水の隣邦、我が帝國の使命、我が國民の責務亦重大なりと云ふべし。敢て江湖の諸賢に薦む。
發行所 東京京橋區日吉町 振替東京一三一〇〇番 民友社
發賣所 京城大平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

高給 監督外務員採用 自筆履歷書携帶本人來談但し確實なる保證人二名を要す
日華生命 朝鮮出張所 所長 水沼千鶴 京城本町一丁目 清光館

強いて安い タイヤ 壹本壹円九十錢 チユーブ 同八十五錢 二千哩以上保證付
其の他上中下種々有之候 カタログ切手御申越次第送呈
大阪西區北堀江御池通六丁目二七 大阪ゴム製造所 電話西一九二四番 振替大阪二七〇〇五番

靴 鞄 內田靴鞄製造問屋 東京市芝區 電話芝一五一五 振替東京一七八一七
定價表御申越次第送呈

京日案內 普通
◎事務員採用 簿記に經驗ある者 自筆履歷書寫眞添附あれ 京城南大門通 丁子屋洋服店 450
◎店員入用 二十歲前後身體壯健なるもの保證人を要し本人來談あれ 京城本町一丁目 丸一雜貨部 443
◎店員入用 年十六七八歲迄保證人を要す本人午前中御來談せられたし 龍山驛裏中村運送支店（電三三三）
中古ピアノ出物あり 貸オルガンも有ります 京城本町 ウッポヤ樂器店 電二五七 435
醫師招聘 番外 希望者は京城永樂町二ノ七（忠清南道青陽鑛山）電話三〇二六青陽鑛山事務所へ 446
吳服商經驗ある店員入用 地方吳服店行き本人至急來談あれ 龍山元町二丁目（三九番）關西商會 447
移轉 小兒科內科 呼吸器胃腸病 南大門通（漢城銀行前）電話四六二番 若槻醫院 408
◎鑛物各種分析 太平町二丁目 遠藤石油店向側（電話二八三）松永分析所 418
貸家 事務所向敷地二百坪建物約四十坪外附屬倉庫付 所在地 南大門通 瓦斯會社向 中根工場 444
賣家 浪板約千五百坪バラック建約六十坪 所在地 練兵場前 漢江通 瓦斯會社向 電話龍二五六番 中根工場 445
◇新古ミシン賣買 電話又はハガキにて御一報次第參上 京城鍾路二丁目 電話二三二八番 楠商店 389
◯內科◯小兒科 女醫 川崎朋子 京城明治町 電話二五〇四番 406
恩給年金立替 月利一分 何年分でも特別御便利に御相談可致候 京城若草町一〇六 電話三〇一一番 西村商會 438

○講和提議公文到達

我政府近く發表せん

羅馬法王の發せる講和提議の公文は十八日我政府に達せるが右は極めて浩瀚なるものにて英國は十六日其の全部を發表せり我政府も近日發表すべしと(東京特電)

○獨逸の講和提議歡迎

獨逸新聞の傳ふる所に據れば獨逸政府は羅馬法王の講和提議の全條項が獨逸に取りて有利のものとなる時迄法王の提議を容るゝ意志なしと揚言せりされど今回法王の取れる手段は獨逸に於て非常の歡迎を受け居れり(倫敦電報)

○講和提議援助保障

羅馬法王は墺國及び獨逸並びに中立國より法王の提議に對し援助を與ふべしとの保障を得たり聯合國側は當分回答見合せの態度を執るべし(羅馬電報)

○フランダース大戰鬪

慘狀ソンム戰より甚し

フランダースに於ける戰鬪は極めて猛烈に行はれ其の慘狀はソンム戰より更に甚しく獨軍は其の陣地を恢復せんと數個師團を擧げて戰鬪に從事したるも何等の功果を奏せず其の一部隊は我(英軍)十砲の前面に於て機關砲の連射に遭ひて全滅し七十高地の逆襲によりて生せる敵の損害は殊に甚だしく十七歲の年少兵士の戰死するもの算を知らず、聯合軍はランゲマルクに於ける進軍中に於て洪水の中を猛進し胸に達する泥土中を行軍せり獨軍は目下リール西方のオブル高地の確保を維持するに過ぎずされど我軍は未だ此の高地を攻擊せず(倫敦電報)

○米航路配置決定

日本郵船會社歐洲航路船百二十七隻の內一部を米國航路に配置すべき案決定し近く發表を見るべし(東京特電)

○南阿臨時船航行

大阪商船會社は南阿行貨物滯貨せるより南阿方面に臨時船を差立つる事とせり(東京特電)

○菊池男爵薨去

相州茅ヶ崎にて靜養中なりし樞密顧問官理學博士從三位勳一等男爵菊池大麓氏は十九日午後五時腦溢血にて薨去せり(東京特電)

〔記者曰く故菊池男は舊津山の藩士箕作秋坪氏の二男にして長兄に文學博士箕作元八氏あり年少にして英國に留學し歸朝後帝大理科教授に任ぜられ文部大臣、京都帝大總長に歷任し現に樞密顧問官たり三女たみ子(三三)は美濃部法學博士に嫁し五女千代子(二八)は代議士鳩山一郎氏令弟法學博士秀夫氏に嫁せり享年六十有三、學界の爲め惜むべし〕

故樞密顧問官 菊池大麓男

○岩村男爵薨去

從四位男爵岩村透氏は糖尿病にて相州三崎町にて靜養中の所十七日午後七時薨去したり(東京特電)

〔記者曰く岩村男は東京美術學校教授岩村英俊氏の三男にして長兄通俊氏の先代を繼ぎたるなり男は我美術界の批評家として夙に斯界にも其名を知らる享年五十有三惜むべし〕

○製煙輸移入高

製造煙草の輸移入高は六月中に在りては口付卷煙草八千本兩切紙卷煙草三十六萬九千本葉卷煙草七萬本刻四十五貫價額合計一萬千三百七十餘圓にして同月中の輸出高八萬五千六百餘圓に比すれば七分一を出です又た一月以降累計は口付二萬五千兩切本二百三十五萬七千本紙卷二十六萬九千本刻五百六十三貫にして同期中の輸出高五十三萬八千五百餘圓に比するに八分一を出です出入の權衡は追時非常の出超を示しつゝあり

○京畿郵貯現況

最近調査に依る京畿道管內に於ける郵便貯金狀況は內地人六萬三千八百七十三人金額二百零七千九十二圓朝鮮人十四萬八千三百六十八人金額三十九萬一千二百四十圓なりと

○京管荷動概況(商況)

▲雜穀 天候不良のため荷動好況ならざりしが月央より天候旣く恢復せると相俟ち强氣配なりしにより出荷好況、是し下旬に於ける日荷數量は上旬の倍數を見るに至れり荷動は依然として沙里院黃州平壤黃海道產小麥多く消州より輸入さるるもの依然として好況を繼續せり

▲大豆 前年に比し二千三百餘噸を增加せるも前月に比するときは二千噸餘の減少なり此の原因は先月末を以て四釜間臨時貨物船運航を廢したるにより大部分內地移出に係る大豆は頓に減少を見たり內地移出五千二百餘噸なり

▲鑛石 新安州安州鑛區閉鎖なりしにより前月に比し千三百餘噸を減じたり鎭南浦久原精錬所に送せる金銀鑛千九百三十九噸を主なるものとす

▲豆粕 本品は出盛期を過ぎたると鐵道運貨物の發送減退せるにより前年同期に比較するときは米、石材等一、二貨物を除きては石炭、木材を始め雜穀、大豆等著しく增加せるにより收入は豫想外の大增收(四割五分)を示し成績非常に良好なり

○豆油漸次昂騰

豆油は支那產原料今年の收穫不良なりしと支那方面の製油例年に比し盛んなる爲め本邦への原料供給は意外に少く加ふるに昨今の銀塊高の影響をうけて原料高につくを以て各製造所にも製產少くために本邦市場に於ける在品は拂底を來したる上昨今輸出のために買進むもの多く現れ相場は七月來より漸次昂騰し目下八圓高の七十八圓を唱へ居れり(大阪)

○東拓果物出荷

東拓鱗島果樹園に於ける西洋梨は本月中旬を以て摘採し番荷は月末何れも市場に出すべし又林檎は晚物にて九月中旬採取の上鮮滿に需要の途を見出し追て例年の如くハルビン市場にも送荷すべしと

觀瀾亭雜俎

蘇峰生

○世の成金輩の豪奢の如きは、畢竟小兒の玩具を擁して、自から誇るの類のみ。吾人は其の志の小なるを嗤ふのみ。彼等眞に豪興を遣らせんと欲せば、何んぞ世界的大事業を企てざる乎。若し然らずんば、せめて獨力にて馬關海峽に、鐵橋にても架したらば、好個の廣告たらむ。

○唐太宗曰『土城竹馬、兒童樂也、金翠綺紈、婦人樂也、貿遷有無、商賈樂也、高官厚秩、士大夫樂也、戰無前敵、將帥樂也、四海寧一、帝王樂也』と。人の快樂も類多し、吾が樂しむ所を以て、他の樂を强ふ可らず。○されど概して論すれば、衰世の樂は、肉慾に集中し、興國の樂は、事業に集中す。乃ち肉慾にあらざるも、骨董、器玩等に、精力を集中し、飲宴、歌舞等に、時日を銷費す、是亦た衰世の樂也。吾人其の樂しむ所によりて、其の人を卜し、併せて其の世を卜するを得る也。

○一張一弛は、生物保健の原則也。如何に事業に熱中すればとて、若干の餘裕を剩す可きは、當然と云はんよりは、寧ろ必然と云ふ可し。されど問題は、唯だ其の主とする所の如何にあり。事業を主とする乎、歡樂を主とする乎。卽ち歡樂が本務なる乎、事業が本務なる乎。

〔世に遊惰程の大罪惡はあらず。活動して失敗するは、寧ろ惰眠して失敗せざるに、勝ること遠し。

滿洲と製造煙草

輸入價額は地方產の四倍に達す

專賣課技師 岡田虎輔氏談

現下滿洲に於ける煙草の消費量に就ては適當なる調査資料に乏しきを以て唯業者が事業の內容を公表するを嫌忌するの風あることにより正確なる數字を以て之を表はすこと不可能なるも予の調査を以てせば英米煙草並に東亞煙草の二大會社が最近一箇年間同地一圓に販賣せる各種製造煙草の數量は八萬二千百九十四函を算し其の價額六百六十八萬六千百九十六圓餘に達せり、而して之に大連、奉天及び長春等に於ける製造業者の販賣高並に朝鮮其の他外國より輸入せる煙草の販賣高を加ふるときは一箇年間の製造煙草販賣價額は少くも八百萬圓を下らざる可く更に

▲下級勞働者 等の喫用する刻煙草及び葉煙草等の數量を一箇年四百萬貫と推定し其の價額三百二十五萬圓(一貫八十錢替)を追加せば滿洲地方に於ける一箇年間の煙草消費價額は實に一千百二十萬圓を數ふ可し。今同方面に於ける煙草嗜好の趨勢を觀察するにまた他地方の例に漏れず全葉及び紛煙草等の喫用は漸次廢頽して一般に下級兩切紙卷煙草に移行しつゝあり、又た人口及び住者の增加に伴ふ煙草消費量の增進も比較的迅速なるを以て滿洲に於ける煙草の一箇年間消費價額は近き將來に在りて優に一千五百萬圓に達すべしと信ぜらる、現に煙草業者の販賣高が年々非常の勢を以て增進しつゝある事實に徵するも之を證することを得べし。次ぎに製造煙草の品種に就きて

▲需用の程度 を見るに其の最も多額なるは兩切紙卷煙草にして口付紙卷煙草、刻煙草及び葉煙草等は極めて僅少なり、而して兩切紙卷煙草會社のパイレート東亞煙草會社のスター及び百圓等は中級良好なるものにして兩切紙卷煙草販賣總額の二割五分を占め米國煙草會社のスリーキャッスル、ゴールデン、ヘルメット等は下級品中賣行最も多く之れ亦た兩切紙卷煙草總價額の二割五分を占む、卽ち上記五種の製品は實に價額に於て其の他六十餘種の兩切紙卷煙草に匹敵せり。煙草需用の狀況は上述の如し。而して之が供給狀況を觀るに滿洲煙草界の覇者たる英米煙草會社は其の工場を奉天に有すると同工場は目下單に

▲土產葉煙草 の調製及び荷造に使用せらるに止まり其の製品は凡て上海其の他同社の工場より供給す之に次ぐは東亞煙草會社にして同社は營口に工場を有し滿洲內に於ける同社の兩切紙卷煙草は其の大部分同工場に於て製造せられ、口付紙卷煙草並に刻煙草は同社朝鮮製造所の製品及び內地專賣局の製品なりとす、英米、東亞兩會社以外の製造業者に在りては其の勢微々として振はず奉天には三林煙草公司(支那人)ありて中級以下の兩切を製造し長春には東華煙草公司(前同)ありて目下露西亞風口付のみを製造しつゝあるが近く兩切の製造をも開始す可く又た大連には富松商店(前同)ありて口付のみ製造せり、而して製造

▲煙草輸入業 者中優位を占め居れるは朝鮮煙草會社及び兩洋煙草公司にして前者の製造に係るエーパゴダス並に後者の製造に係るスリーアシップは賣行良好なり下級滿洲人の全葉喫用に供する葉煙草は農家の自宅附近に小圃場を設けて栽培し自給を爲すもの以外は主として吉林、奉天及び黑龍江三省の山地より產出するもの、如し以上述べたるが如く滿洲に販賣せらるゝ製造烟草は當地に於て製造したるものと輸入せるものとの二種あり後者の數量は前者に比して遙かに多量を示し價額の如きも前者に四倍を算せり又た地方製品の原料並に材料は滿洲產のものを使用することは稀にして其の大部分は米國日本內地朝鮮南支那等より輸入せらるゝの狀況に在り

◉蓄堂歡迎詩會

結城蓄堂詩伯歡迎雅會は愈々廿日午後三時より東大門內工業專門學校北手なる安淳煥宅邸往來園に於て開催さる可し參會希望者は總督府人事課の久芳氏又は本社の阿部氏へ申込まる可く成るべく多數の參會を希望すと

◉京城憲兵分隊管內出生死亡狀況

京城憲兵分隊管內崇仁面以下二十一面に於ける出生並に死亡狀況を聞くに大正五年上半期の出生三千三百四十三人死亡一千八百九十二人に對し大正六年上半期は出生三千百六人死亡二千九百九十六人なりと昨年は死亡に對し出生一千四百五十一人多く本年は出生に於て百九人の多數を示せり之を前年同期に對比すれば出生に於て二百三十八人を減じ死亡に於て千百四人の增加を示せり而して死亡の原因は呼吸器を侵さるゝもの多數なるが如く本年の旱天が人體の健康に影響する所大なるものあるが如しと

人事消息

▲宮本又七氏(京畿道警察部長)十九日夜入京天眞樓へ
▲英人ジョンエルジエーゴールド氏(釜山)同上朝鮮ホテルへ
▲佛人ジレット氏、同ゲーストランド氏(釜山發)同上
▲須田松次氏(大阪府議員)吉野茂氏(同夕陽丘高女校長)柏原熊次郎氏(同英語科校長)十九日京城へ
▲羽池保作氏(大邱醫師會士)十九日退京
▲阿部榮氏(朝鮮銀行哈爾賓出張所長)十九日夜入京不知火へ

支那の政界(三)

上海 鴻鵠生

○南方觀察は其位にして北方觀察に移る。先づ第一が馮段の關係如何だ、今の處は五分五分の角力で、どこに角折合がとれてゐるやうだが此先果してどうか、今日のチャイナプレッスには馮が更に一萬の兵を南京から北上せしめるさうだが、此處等が用心のいゝ所で、袁總統が袁以來の總統府の衞兵を廢した遺口とは余程違ふ〇問題の江蘇には馮の主張通り江西の李純が來て、江西には陳光遠が來る、陳光遠は槃の段免職事件にも關係のあつた人で、段の地位恢復と共に之を綏遠都統に左遷したが、辭して職に就かず今度王士珍によつて漸く泣き付き遂に其地位を贏ち得たものらしい、其代り段は湖南に傅良佐を据ゑ付けて埋め合せをしてゐる〇北洋派に直隷派安徽派の二派があるといふがそは大體に於て否認することが出來ぬやうだ、直隷派は馮を王士珍を首領とし、李純、王占元、曹錕、陳光遠等其の錚々たるもの安徽派は云ふまでもなく段祺瑞を首腦とし倪嗣冲、段芝貴、靳雲鵬、盧永祥、傅良佐、吳光新等の人物がある孟恩遠、張作霖等は少し毛色が違ふが、矢張り段派と見るべきだらう、其の李長泰、李厚基、楊善德、陸錦、陸建章等の二流所に行くと、直隸人で安徽派に屬するものあり、安徽人で直隸派に屬するあり、色彩鮮明でないが段が多年陸軍部に坐つてゐた丈に少くとも外面上段に附いてゐるものが多い。だ漸々といふ時どうかは分らない。〇王士珍が復辟の事に坐して參謀總長を止めやうといふのを馮などが頻りに止めてゐる、此要職を靳雲鵬等の安徽派に取られるのがいやだからだといふが或はそんなことかも知れない。〇馮段の關係はそれ位にして、今度は國務院の中を見る、近頃研究系と交通系との暗鬪が盛んで互に相排擠してゐると傳へられ研究系の背後には馮があり、交通系には段があるといふが、まさかそう簡單でもあるまい、果して暗鬪ありや否やは第二の問題として、先づ其色分を見る。

□百聞百種□

今回露國大元帥になつたニコルロフ將軍はケレンスキー首相と並んで今の露西亞の大立物である▲將軍は一昨年露軍がガリシヤを退却した際折惡しく敵の捕虜となつたが幸にも監視を破て逃亡した武運の强い人だ▲將軍が墺國首府ウヰンナを逃げ出す時は百姓か何かのぼろ服を纒ひ▲前後十二日間は食ふや食はずの苦勞をして漸く敵の戰線內を駈け拔け▲やつと味方の軍隊に近づくと急に安堵して空腹と疲勞の爲に人事不省に陷つた▲今でも露國軍人社會の一とつ話になつて居る▲軍人としては露國有數な將軍で露軍總司令官としては最も適當な人だ▲青島戰で有名な堀內中將日置默仙老師を一休禪師に見立て▲自分は蜷川新左衞門と云ふ格で信越地方に出掛けた▲一日高田聯隊で將校連を集め『吾輩の禪は既に神通不可思議の妙諦に入つて居る▲子供の寢小便からリウマチス神經衰弱と云つた病氣なら一喝で直ぐ根治する▲諸君の內に希望者があれば直に此處で治して上げる』と大に吹くと▲折柄居合せて居た安藤師團長が微笑しつゝ『堀內君、君に其の樣な靈妙な術があるなら、君の身體も最少し高くなりさうなものだね』▲堀內將軍も之れにはギャフン▲因に同將軍は小男だ

□南太守の俳信 山口一象林

○鯛の姿を見ず道に里の百合 碧山洪

○夜まわりの音渓に響きて月涼し 碧井上

間島だより

▲寧古塔近狀 取締地の大[illegible]の家屋飾比し反つて市の面目を一新するに至れるが本年に入りては更に之れを認め既に允許を與へたるは支那政府も風紀[illegible]の爲め支那[illegible]業たるを[illegible]はざるより支那政府も[illegible]に於ける昨年八月中と本年八月中の平均氣溫を對照するに暑氣は昨年より甚しく雨量は約四倍に相當し[illegible]

▲天寶山銀鑛擴張(滿鐵) [illegible]季の結氷中は設備の不完全に基き作業に留意[illegible]り同鑛の損失と[illegible]する事少なから[illegible]組合に就き[illegible]む方針なりと(間島)

◉群山の殘存米 群山米穀商[illegible]千六百四十二袋並に三百五十三叺、大麥八百二十叺、裸麥三百叺、小麥[illegible]するに本年は諸物價の騰貴に伴ひ米價及び其他の穀價も騰貴の趨勢を辿りたる爲めと湖南線各地の在米品薄を告げ前途を見越して放賣せざりし結[illegible]

開業

今般朝鮮總督府醫員兼京城醫學專門學校助教授を辭し左記へ開業仕候

岡本齒科醫院

京城本町一丁目(江戶川橫)

齒科醫 岡本亮作

豫告

本年四月以來滿洲漫遊中之處來る九月上旬より再び京城に於て診療に從事可仕候也

滿洲奉天出張中

久枝肛門病專門醫院

地方御注文は特に便宜迅速御送付可致候

和洋金物一式

佐藤半次郎商店

京城本町三丁目 電話二四 振替京城一三〇番

內外科 小兒科 花柳病

京城本町二丁目(番館前) 電話二一六番

高井醫院

院長 正六位勳四等功五級 高井貞治

副院長 千葉醫學士 松崎正彥

診察自午前九時至午後九時 日曜祭日正午迄

赤玉ポートワイン

美味滋養 純生粹 葡萄酒

「赤玉ポートワイン」は健胃、補血、興奮、强壯の効顯著なる葡萄酒なる事は既に七大醫學博士の賞讃と證明せらるゝ所にして今や各大醫の藥局に於て滋養劑として賞用されつゝあり、其味美味なるに依り婦人小兒の口にも適する美味滋養の葡萄酒なり

七大博士の賞讃と證明を有す

●立太子奉祝 記念獻上畫成る

書材を水原華虹門にとり中澤弘光畫伯五旬に亘り齋戒沐浴して完成せる五十號の風景畫

―中澤畫伯獻上畫を携へて二十四五日頃歸京―

昨年十一月東宮殿下立太子式に際し全鮮文官一同より奉祝記念として東宮に獻上すべき歷史畫風景畫を現代一流の畫家に依囑せるが歷史畫は日本

◇畫家二十餘名に囑して繪卷物とし風景畫は内地の山（富士山、和田英作氏）と海（瀬戸内海、中川八郎氏）植民地にては朝鮮（中澤弘光氏）滿洲（山本森之助氏）臺灣（石川寅次郎氏）樺太（安田稔氏）の風景を選ぶ事となりしが中澤弘光氏は此の名譽ある畫家の一人として朝鮮風俗の揮毫を依囑せられ今春一度朝鮮各地の山水風俗を視察し歸東の上更に畫具を整へ六月二十七日水原に來り畫室を閑靜なるいろは亭の一室に設け水原華虹門を背景にしたる

◇朝鮮風俗の寫實に取掛り爾來五十餘日冊丹精を凝らして製作に從事し居たるが一兩日中に完成し近く作品を携へて歸東の途に就く筈なるが獻上の華虹門の畫は横四尺五寸竪三尺五寸（人物五十號）の新面にして城内より南に面して華虹門を望みたる風景畫に遥まり七個の穹窿より流れ入る河水、朱塗の樓門の上には朝鮮特有の澄空連らなり雲の形の面白き下に遠山翠に連なり

◇門の兩側の深林に包まれたる上に訪花隨柳亭の丹楹が翻を現はしたる邊も門内の水には白岸の楊柳蔭を透して水の畔には白、赤、青の衣を著たる鮮人の洗濯する者の水を運ぶ者等實景と些かも異る處なし、府木旅館に滯在中なる中澤弘光氏を訪へば氏は獻上畫製作に就て語つて曰く今回の作品依囑は畫家として大なる

◇名譽を感ずると共に有らん限りの精力を盡して從事し居れり毎日朝は午前五時に起き沐浴齋戒し畫室よりカンバスを取り出し、最も朝の氣分よき一時間位を費念に寫生しそれより畫室に歸りて筆を入れ午後は勝手の寫生等を爲すのみにて獻上畫には一切手を觸れず斯くの如く齋戒沐浴し精力溢れたる朝の間に恭作したる事とて果して依囑に添ふや否やを知らずと雖ども自分としては

◇會心の作を得たる事を悅び居る次第なり、始め予は朝鮮風俗の揮毫を田所文部次官に囑せられしを以て直ちに朝鮮視察を爲し初め慶州を描く考へなりしが慶州は餘りに綠陰深く單調なるべきを憂ひ京城平壤其他を詳細に視察したる後遂に水原華虹門を選ぶ事とせり製作を始めたる後一回ばかり散步ありしも其他は毎日精勤勞作を續けたり幸ひ晴天續きにて風色著筆當時と些かも異るなく製作意外の進捗を見たり、朝鮮は

◇降雨少なく天色澄みたる上に内地に於ては容易に見るべからざる樣々の面白き雲、千日現はるゝ上に雅致ある古建築物、風雅なる男女の著衣、被布等はよく此の鴨ひらかなる自然に調和して何處を見るも一幅の大畫圖ならざるは無し今や之等の風俗は日に〳〵改まり古建築物も頻に改造せらるゝは我等の目より見て惜しき限りなり作品は來る二十四五日頃携へて京城に立寄らず歸東の途に就く筈なり

◇獻上畫の背景たる華虹門と中澤弘光畫伯

●鴨江上流の馬賊

採木公司八道溝分局より最近本局へ達せる情報に依れば同地方一帶には去る六月以來數十名より成る馬賊の集團數隊徘徊し出沒横行し掠奪を恣にしつゝあり四月二十八日の如きは同地中央街日本賣藥店を襲ひて邦人店員伊藤長太夫を殺害したる椿事あり又同二十九日には六道溝に二十餘名の一團現はれ同地の豪農張福□他を襲ひて金品を掠奪したる上放火し剩へ人質を拉し去れる等此種の被害頻々として起りつゝあり而して五道溝、東南岔、三合子附近にも亦數十名より成る賊團各所に出沒し是等は漸次八道溝方面へ迫りつゝある狀態なるを以て同分局にては同夜嚴重警戒中なりと（安東電）

●元山荒しの賊

自稱咸南陽德郡南山面禹興淳（二七）は安邊郡にて巧みに窓切り強盜を働き數箇所より木綿其他目星しき品々を持ち出したるが其後元山に入り込みしより元山署にて嚴探中元山里永興泰方にて窃盜品の賣却方相談中を逮捕し取調べの結果中里孫兆曉方七十圓、壤村洞李元錫方百十二圓、北村洞金斗錫方百二十圓、中里金榮生方の四戸を荒したる旨自白するに至れりと

◇常備消防隊の水練納會―漢江楊花津にて―

●拔手を切つて六百米突の激流を

京畿警務部常備消防隊の水泳納會

―赤銅のやうに鍛ね上げられた壯漢が今日を晴れと―

滿十日間龍山麻浦洞の對岸で夏季水泳練習を行つた京畿道警務部常備消防隊では十九日午後二時から其の納會を擧行した、麻浦から漢江の清流を隔てた對岸白砂の大砂原中央には

▽天幕や掛小舍を設らへて來賓や練習消防手の席に宛て來賓席には接待の用意が遺憾なく整ひ其の前方には餘興の相撲場として消防器具を應用した四本柱の土俵が築かれ打開いた河面からは絶わず爽鮮の風吹き來り腹背には南北兩漢山を遠く望みながら泛舟で集まり來る來賓の數も殖ゆれば軈て小熊主任警部指揮の下に喇叭を合圖に小距離の水練競爭が劈頭に開始された、是れは極めて初心な消防手十三名から成つた一組を短艇で江流の至中から見て

▽約三分の一位の箇所に連れ行き其れから陸岸の標旗に向つて泳ぎ附けるので其の結果一等森田二等古川三等渡邊の各消防手の順序となつた▽次は中距離競爭で江の中央部位から陸岸に到著するので赤銅のやうに鍛ね上げた一組の面々が合圖と共に厥然泡沫を立てゝ水流の中を拔き手を切つて第一著甲佐二著高野三著宮本消防手の各順序で夫れに引き續き中距離競爭

▽第二組も同樣開始され永野長野矢野の各消防手の順に到著した、次は愈々江流の横斷競爭である、粒選りに選拔された各消防手は今日を晴れとばかり十日間鍛錬した手練の術を來賓の前に實演することゝて自ら鋭氣眉宇に溢れてゐた參加した勇士の面々としては成尾、小林、橋本、鬼塚、金井、森岡、甲佐、松熙俊の各消防手の外に東京帝大の學生なる警務部小牟田警視の令息及び本町警察署の看給仕と二人の飛入選手を加へ總員十名である

▽警備船瑞號を初め他の短艇には教官や係員が乘り組んで萬一の危險に備へ準備が整へば一發の合圖を以て麻浦下に浮べられた一隻の小舟から一齊に水流目蒐けて跳び込みスタートを切れば觀客一同は手に汗して水面を凝視する程に熟練した拔き手を見せて約六百米突の激流を壓行しつゝ泳ぎ行く内に六分間を以て第一著に藤岡消防手が先著し第二著金井第三著熙俊消防手の順序で觀客の喝采裡に到達し其の他一名の落伍者もなく殊に給仕は

▽僅か十五歲の少年ながら大人並に無事横斷したのは異彩を放つた、次は豫定の如く四隻に分乘した短艇の競爭で是れも無事終了すれば一同既定の席に整列し隱澤警務部長より優勝者に夫れ〳〵賞品の授與があり終つて一場の講評的訓示があり之れで水練納會は閉會された後引き續いて餘興の五人拔や三役等の相撲取組の催しがあり其の名前が面白く振つたもので中には漢江、南大門、水管車、消火栓と言つたやうな名もあつた、斯うして來賓會員一同歡を盡し午後六時頃一同退散した當日は臨時警務部長を始め友角課長以下警務總監部憲兵隊司令部の各高等官京畿道警務部各高等官府内各隊警察署長新聞記者等多數の來賓があつた

●モヒ密賣檢擧

咸北會寧郡雲頭面城前金濟松（四〇）同面五鳳洞申彥範（三九）は本年七月二十七日滿洲安東縣大和藥店よりモルヒネ二百四十匁價格八百圓を買入れ中百二十匁は翌廿八日京城鍾路に於て醫師、藥劑師、藥種商にもあらざる吳公振なるものに分與し殘餘は幾備か携帶して間島方面に密輸販賣せんとしたることを清津署にて探知し兩名を逮捕取調べの上檢事局へ送れり

●主家の金を盜む

北海道渡島龜田郡大野村生れの石島榮（一八）は京城船橋町牛山牛乳牧場の配達に雇はれ中八月六日夜店の金四十七圓餘を窃取し内五圓許りを消費し殘金は休町萱野方同居福島縣石城郡江名村生れの吉田鷗爾（二九）に預け吉田は其の内より更に七圓餘りを遊興費消したる爲め兩名共本町署に引致さる

●怪しい患者

京城公平洞六十七番地佐藤文吉（四五）は十七日俄然吐瀉下痢を始めたるより急報に接し鍾路警察署より警察醫出張診斷採便の上目下檢鏡中

◆電話と藝妓と貯金

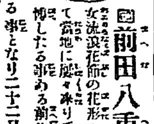
檢番の電話と藝者の貯金とは大した關係もない樣であるが[illegible]の不思議の現象である。市内の各檢番所屬の藝者は商賣上の活動目であるがここは其の毎日使用する電話の度數にても分る譯にて、此の檢番の客接遇上に於ける積穴の金額の高下に招じる執達が第一に證明して居るさうだ。日々幾百圓となく嫁ぎ稀されては如何に堅固の金庫でも空虛するは當然である、失れだけ其の檢番所屬藝者の働き振りが盛んな譯である。然して貯金も多く盛々出來てゐる。其電話使用の度合に比例して増加する一方で何んでも今では[illegible]に行くさうだが、誠に結構の事だ。[illegible]ドシ〳〵働いて金を儲け之を貯金に入るべしと[illegible]は何うだらうと郵便局の内情に詳しい人が者に嘲罵した。

●銅板を盜む

長崎縣壹岐郡渡良村生れ鈷力職工川邊幾之助（三五）は八月十一日午前五時半頃明治町二丁目唐川吳服店の陳列棚下にありたる銅板十九枚（十圓）を鋏にて切裂き竊取逃走の際本町署の巡査に捕はる

●捌つた横著者

仁川龍里元居住仁川警察署巡查補鄭程範（三八）は寺町權元弼の妻李範順（二七）が夫婦喧嘩の末本年二月より四箇月間許り實家に歸省中實家は程範方の隣家なりし爲め兩名は何時しか關係するに至りしを元弼が探知し紛紜中なるが程範は其の以前に免職となりたり



回前田八重子

女流浪花節の花形として曾て當地に屢々來りて好評を博したる前田八重子は今回再び來京する事となり二十二日より壽座に開演する事に決せり

回仁川の海老一

壽座に於て十日より滿員を續けたる奇術海老一（蝶五郎）一座は今二十日より仁川歌舞伎座に開演すべく初日の出し物は八十茶屋、親の戒三人掛等にして一二等客には先著五百名にサツポロビール一本宛三等客にはシトロン一本宛を贈る由今回の仁川興行は三日間に過ぎざるも京城と一樣大當りを取るならん

回黃金館

十八日より全部新寫眞と差替へたるが其の主なるものは教訓劇鹽原多助一代記五卷新派劇誰が影、宮島心中等なるべし

回大正館

例の出雲新名古屋嬢數の一行はますます好評にて日を經るに從つて入りを增しつゝあり

[illegible]せしめ[illegible]三分の一を[illegible]めたるも其の後漸次に恢復し今や中堅の街區は商家百餘軒を列べ漸次[illegible]せんとする計畫あり此の[illegible]設は[illegible]海林と同地六里半の距離を[illegible]むるものにて同地の發展上有利の事[illegible]るも[illegible]此間の鐵道は敷設實見さるべしと云ふ

▲龍井氣象概況 間島龍井に據る

	本年	昨年
午前十時氣溫	二四八	二三一
最高	二九三	二八〇
最低	一八三	一五九

[illegible]計畫案を掲げ間島[illegible]中なるが同計畫は要するに同鑛經營の第二期に入りたるものにて從來[illegible]も從來の夫れに比し六倍量に達せし[illegible]むる程度に進め從つて採銅量の如き[illegible]

[illegible]銀行群山支店[illegible]十八銀行[illegible]用銀行に於ける在庫穀は玄米一萬二八十七叺、白米千七百九十八叺、調査の在庫穀は玄米四千叺、中白米二百叺、粟三[illegible]比すれば約三倍の在庫穀を[illegible]せり[illegible]分は在米約一萬叺の見込にして新旧に於ける在米は約二萬三千叺、其他の雜穀、栗、大麥、荏子、小麥等にて約六千叺なりと

夏の命は
清洒した氣分です
避暑の地に遊ぶ人も
熱鬧の巷に働く人も
心から清洒した艶やかな皮膚を
發揮して夕風の涼味を迎へることは夏の日に無くてならない樂みの一つです
品質本位
花王石鹸が
何れの地を問はず最も愛せられて居るのは
これが爲です

東京馬喰町 長瀬商會
大阪安土町 大崎組商會

◉飛行界―の新傾向

輕捷より長時間の耐久と堅牢
▽……歐洲も日本も大發動機全盛

歐洲列强の空中勢力は戰亂の結果著るしく發展して今や空中戰術の進歩に伴ふ飛行機の科學的研究は殆んど極度に到達した

◎今後の重要なる研究問題は唯發動機の能力增進を計るにある、列强競つて此方面の研究に全力を傾注した結果は歐洲發動機界に一變遷を齎して來た、即ち過去に於ける飛行機用の發動機は專ら輕量主義の下に製作され彼のグレダー型やノーム型の如き主に空氣冷却式を採用してゐる廻式は二百馬力の重量僅に五四〇乃至六六〇封度に過ぎないが燃料の消費量が多く、又故障も起り易いが其效率を極度まで

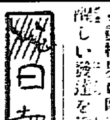
◎犧牲に供しても輕快敏速を目的としてゐた、然るに戰亂の激成に伴ひ長時間の運轉能力と耐久力の必要が生じて堅牢確實なる水冷式が勢力を得て來た、北米のレッセンバーカー型(百二十馬力重量七二〇封度)デゥンバーク型(七十馬力四二八封度)の重量型の比較的重量でも頑強な物を採用するに至り、廻轉式は一部輕快を必要とする小型飛行機のみに用ゐる事となつた、以後歐洲の發動機界の趨勢は此主義の下に發達し

◎現に五百以上の强馬力が盛んに用ゐられ百馬力以下は殆んど過去の遺物として取扱はれてゐる

此傾向は最近我國の陸海軍飛行界にも波及して從來佛の空冷式七十馬力を固執してゐた當局は漸次に水冷式の强馬力を採用するに至り現に佛のサルムソン二百馬力、英のサンビーム百二十馬力、米のカーチス百馬力等に就て研究を開始し曾てカノー號に類似型の一號型の所澤飛行場に昨今强馬力の飛行機が

◎快翔して威力を示してゐた其結果は海兵工廠や長浦造兵部に於ても純日本製の水冷式强馬力の發動機を製作し優に外國製を凌駕する成績を得てゐるので今後の我軍用發動機界は歐洲のそれと雁行して目覺しい發達を遂ぐるのであらう

日報俳壇



雲の峯
日に褻む河原蓬や雲の峯　梅牛
紙干して廣付き里や雲の峯　同
鬪水の夜毎になりぬ雲の峯　同
樹に倚ふ十人の家や雲の峯　末刀
助産婦葱は獨り夕餉や釣葱　愛蘭
月に移す櫛浴やかや釣葱　同
灯點さで語り更しぬ釣葱　同

夏草
樹陰あれば夏草に牛放ちあり　三秀

顏
甚顏に下積柴は腐れ居る　末刀
甚顏や砂に投げたる瓜の代　同

秋近し
落下に鳩の抜け毛や秋隣　友祥
縁に泥打つ潮や秋隣　同

狹竹桃
狹竹桃に雨晴れ二階掃く且　かよ子

蚊帳
恐ろ夢見たるぬるい蚊帳哉　歌緑子

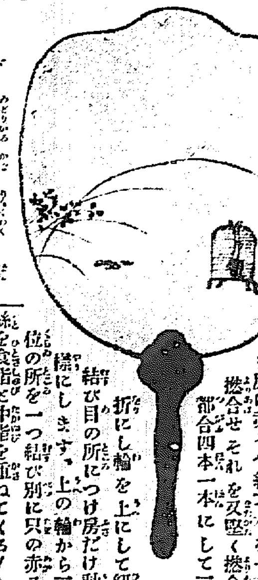
□蟲籠と秋草の 刺繍絹團扇

△客用には有來りの絹團扇よりも絹團扇へ涼しさうな刺繍等を應用したのは珍らしくつて喜ばれるでせうと思ひます。

△こゝには白絹張りの團扇へ蟲籠と細い秋草に水をあしらつて蟲籠は中の布を切り取つて糸だけの格子で透かせた物です。最初圖案を裏からあて鉛筆で寫しましたら先づ萩の枝葉から繍めます。

△スガ絲薄育の一本一本の絲(一本のスガ絲を二つに分け撚り合せた物)で皆はすに縫ひ枝もまつして縫きます花は點一つを二度位大小取混て縫ひましたら次に細い草の葉は葉より少し薄目な色で二タ管合で萩の枝よりやゝ太めに先を細くはすに縫ひます下の方の一番細い草は只のもどし針に致します

▲岩は濃い色で一本一本に撚りしたら濃い綠色で籠の輪廓を一本一本の少し堅目に右撚りにして一ト廻り鎖縫ひにしますそしたら其絲を切らない樣に注意して籠の中になつた布をすつかり手綺麗に切り取ります次に矢張り今の濃い綠色を一本一本つかり横に渡して綴ひます水は水色でも白でもよろしく一本一本に右撚りにして太い所は横に管ぬひにし細い所はもどし針にして縫ひます



▲今度は蟲籠の足を黒絲一本一本の左撚りで全體に横に縫ひつぶします

に堅く二十位撚りまして始めに堅に五厘間目位に渡し次に横に矢張り五厘角になるやうに渡して縫ふのです。出來ましたなら赤絲を一本一本に撚り籠の赤い紐を縫ひます圖の如く籠の真中を堅に籠の上部の輪廓の直ぐ上から足の黒のすぐ下にかけて裏表兩面に三度位渡し總の絲で上の紐の結び目を堅に縫ひつぶします房は赤スパ絲二本を一本に撚合せそれを又堅く撚合せ都合四本一本にして二つ折にし輪を上にして紐の結び目の所につけ房だけ動く樣にします。上の輪から二分位の所を一つ結び別に只の赤スガ絲を食指と中指を重ねてくる〳〵十五程卷き普通の房に作り前の結び目から又二分位下つた所へつけます。

▲草に居る蟲は黒絲二タ管合に撚り羽は堅、縫ひひげと足はもどし針に返し縫ひにしますと夫で出來上ります

新刊紹介

◎台水先生遺文 台水氏は姓は高井名は治伊賀の人にて甞て仕へ[illegible]大和城和[illegible]に職を[illegible]しや廢た帝し一度郡長となりし病を以て辭し[illegible]冠後隆自適して漸く儒學文章を以て鳴る識論亦超卓文字雅訓にして武中文有り文中武あり特に其の天下に傳ふべきもの多し義子磯太郎氏其の遺稿を上梓汎く知友に分配せしものなり(非賣品)

▲實業之日本(八月十五日號)大隈侯爵の『極東中心論』增田同社長の『文明に適行する新作法』浮田博士の『戰後商人の二大藝術』神戸博士の『國西中心論』新渡戸博士の『天死國民』男爵生の『天能の前才』野村胡堂の『東京新宿頭藩の番太鼓』米國参戰の裏面と前途『米國工業界の新現象』在新嘉坡淺田工學士の『首つて南洋に往け』は渡航方法、注意より商社に於ける事業、生活狀態及び費用に至るまで委しく南洋を紹介せり(一部十五錢東京實業之日本社)

▲日本少年(九月號)『排國變死物語り』有本芳水[illegible]

▲少女の友(九月號)日本野理學士の『高樹の上で鳴くあた松島』等の小說、十七年の春は本號より新に掲載されたるもの清新なる少女の讀物其他講話小說に有益なる記事全誌に溢る(一部十二錢東京實業之日本社)

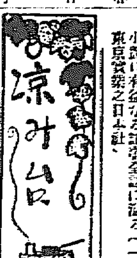
ろしき新聞雲○月世界探險隊其他の[illegible]戶大將の男子讀川女博士の趣味豊富なる講話淸稿なる少年小說等豊富なり(一部十二錢)

□活巴宵 (第四回林町午後若小集)

螢
野風吹來た人宿りてあり飛ぶ螢　文
穢物なき川螢の歸り螢かな　同
螢飛ぶつ湯加減み問く螢哉　同
行き暮れしまゝに草鞋ぬきの螢の野　[illegible]
螢名所なれと夜漲は水潤れて　[illegible]
れ揺淀る水昔の間歸や螢明滅す　[illegible]
心あてなき徘徊時る人群れに　[illegible]
ドス黒い池の生垣の螢光る　[illegible]
[illegible]

婦
幼兒に乳含ませて婦眠れり　同
蚕飼ひ繰り捗らぬいやな蟬哉　同
蚕算終えて上着きる蟬の夕也　芳宙

◇鶉飼の新男爵 新男爵の與田さんは有名な鶉の飼育家である夫人に至つては其の飼ひ方の巧妙更に大君以上である雛の時から飼はれてゐるのは中々面倒なもので御兩人の手に掛つて瀕死往生する者も尠くないとの事其れでも同好の連中が鶉の鳴く競技を出掛けると新男爵は鶉めに得意になつて滔々と飼育法を說いて聞かされる相な



◇新顧問官の趣味 新に顧問官となつた一木喜徳郎氏は法理學者として聞えてゐるが氏の趣味は日本刀劍の鑑賞にある現に九段遊就館にある刀劍會の古い會員で目下議論が何かしてゐる笹氏が刀劍趣味を深くしたのは田中光顯伯の手引で專ら備前物を得意とし、古備前、長船、福岡一文字孫氏の鑑識にのぼれば一見明瞭である、然し惜い事には鈴木充美氏や、淸水幸藏檢事のやうに自分から槌を取つて刀劍を打つことをしないから、鍛冶屋廢止、機械打ちの論なぞを持つてゐるとは或る通人の話し

外科一般 皮膚科 泌尿器科 花柳病科
院長 安部修三
京城永樂町二丁目金光敎會隣
安部醫院
電話四一九番

◇鳩に禮なし 何日ぞや京城に來た陸軍教育總監部の近野少將の名は『鳩の三枝』に因んで鳩三と云ふのださうなが是に就て或る鳩好き日く『鳩の家庭は夫婦本位で又極めて個人主義で、もう我子の仔鳩が獨立する事が出來るを見たら、後に附いて來る奴を悉く蹴落してしまふ、それを例の道學者が『三枝の禮』と見損なつたものだ、何、鳩の社會にそんな馬鹿な僞善者らしい虚禮があるものか

◇大規模の貨物驛 鐵道院では現在の貨物驛たる汐留驛を將來米國に於て見る如き我國第一の大規模な貨物驛とする考へを持つて居るが直に是に著手する事は今の所周圍の事情が許さぬので追々に擴張して行く計畫だ相な

◉京阪財界近信

▲全國會議所大會 米國商[illegible]頭若くは關會前後策を講究す
▲三品取引と增資 三品取[illegible]
[illegible]他によれば濠洲聯邦政府は麥酒、寶石、酒精ビスケット自動車の輸入を禁止せり
▲酸化ブラック昂騰 [illegible]低迷、物況の預金利子は近來と決定[illegible]して百十圓を呼びつゝありて低廉の[illegible]關係上本邦產を代用したりしが當[illegible]呈し居る現狀なる船腹不足運賃高[illegible]相場は百斤につき三十八圓を高の姿なりと
▲織物が沈靜 本年一般に[illegible]だると及び原料綿暴騰を加ふるに[illegible]地は現實好況なりしため女工に不足[illegible]しの如きは例年に比し二十日[illegible]きが商況の强勝は極端なる强弱[illegible]

最新刊

◉打碁と要領 五段 野澤竹朝 一、二〇
◉支那府御秘藏將戰 本因坊秀哉 八五
◉海外交通史話 辻善之助 一、五〇
◉敎育に應用せる兒童研究 高島平三郎 二、八〇
◉兒童の惡癖 寺田精一 一、五〇
南條文雄著 定價 一、三〇

進むべき道

◉現代諸家スケッチブック 第一集 北澤樂天 一、二〇
◉娯樂の卷 遊藝叢書 一、〇〇
◉縮刷弓張月 曲亭馬琴 七五
◉詳註千字文義解 會田貢 五〇
新田豊著 定價 八五

天然生活法

◉新撰英詩集 森口多里 六〇
◉現代新撰祝賀弔祭文範 青年文壇編輯 九〇
◉皆子健全に婚期まで育つ 上田仲・高橋編子 一、三五
◉早く手になる女子はがき文 赤正可一 三五
◉悟道の妙味 釋宗活 九〇
◉無我の生活 新井石禪 九〇

京城本町一丁目 電話五四六 振替京城二七一番
大阪屋號書店

淋病 睾丸炎 膀胱 外用 りん病藥 專賣特許 溶彈ブーヂー
溶彈ブージー
定價 六日分六十錢 十二日分壹圓 送料內地八錢
全國藥店にあり
東京日本橋區本町 大正製藥株式會社 振替東京三二三七三
內服 ゴナール 定價 五十粒入 六十錢 一百粒入 壹圓

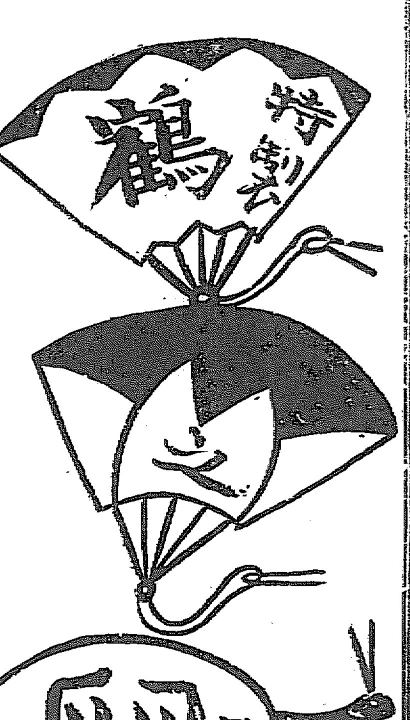
山林果樹害蟲驅除劑
シーエス液
螟蛉類には五十倍乃至七十倍にて
京城旭町二丁目電話一〇七八番
同元町一丁目電話四二四番
山田商店
原液壹瓶三十錢
▲カタログ御申込次第進呈す▼

眼科專門
入院隨意
京城明治町東拓横(電話二〇四四番)
江頭眼科醫院
日曜祭日午後二時迄
江頭富雄

男のひみつ病
無病の人も試よ
內外國醫科大學御採納東京順天堂病院始め博士學士の實驗證狀の如く全國發明品投票に最高の優等に當選せる專賣特許 手島式眞空療法器生殖器 病の短小、萎縮、能力の諸障害、神經衰弱、痳病等を遂に治し萬に自效ある水治療法器は自宅で簡便に使用せば如何なる皮カムリ、手軽に治るも效果偉大也 ▲包莖者は特許包莖安全自療器(專賣特許に因せたる公許の無き)(自療新案特許なるものあり注意)
東京京橋本材木町三ノ二五 大阪市北區北森町一番地
新療法研究所
ガキで申込めば圖入說明書を無代送呈

資本金 貳千貳百七拾萬圓
積立金 壹千百貳拾萬圓
株式會社第一銀行京城支店
京城本町二丁目(振替貯金京城一二番)
支配人 西村道彥
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
內地滿鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候
明治火災保險株式會社代理店事務取扱申候

外科一般 花柳病科
內科一般 皮膚病科
普通及隔離病室完備
診察夜九時迄
京城旭町一丁目(本通り左に入る)
島崎病院
電話二七三六番



特製鶴之卵石鹼は現代の化學に於て攻究すべき範圍の總てを盡したる最善最良の石鹼にして其品質其芳香いづれも需用者の期待と合致すべき優等品なり。普く江湖の御批判と御愛用を俟つ!!!
發賣元 東京市馬喰町 淺井支店

下痢にヘルプ
●夏の下痢病は多く、不消化と黴菌作用より起る、故に下痢止藥は
○消化と殺菌力の最も絕大なるヘルプを用ゆるが一番安全也

旅行にヘルプ
▲旅行とヘルプを携帶すれば▲船中下痢が起つても▲汽車中腹が痛んでも
▲旅宿で食傷した時も▲途中で醫者が無くても▲安心して手當が出來ます

千倍に釋したるアイセルを塵埃溜や下水に撒けば蠅や蚊の發生すると斷じてなし

富の道しるべ
▲山縣五十雄、村上唯吉共著
價十五錢 郵稅二錢
京城太平通京城日報社代理部 振替三〇〇番

汽船釜山出帆廣告

門司、神戶、大阪行
○和歌浦丸 八月廿五日 後五時出帆
○立神丸 八月 日後五時出帆
元山、淸津、浦鹽行
○和歌浦丸 八月 日後十時出帆
○立神丸 八月廿四日後四時出帆
元山、西湖、新浦、城津、淸津行
○第三琴平丸 月 日後六時出帆
門司、宇品、神戶、大阪行
○第三琴平丸 月 日後六時出帆
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
○天草丸 每月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

共同汽船 八月二十仁川出帆

大連行
第十一共同丸 八月廿一日 午後八時
阿波共同汽船株式會社
本町四丁目(電話一七三番) 野口商會
仁川代理店 春日町(電話二四七番) 田口回漕部
南大門(電話二六〇、七〇) 京城取次店 河村運送店

尼崎汽船 八月仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
○君が代丸 八月廿八日後四時出帆
○大有丸 八月廿三日後四時出帆
○秀吉丸 月 日後四時出帆
○神代丸 月 日後四時出帆
仁川海岸通一丁目 電話五十九番 高杉回漕部

大阪商船 八月仁川出帆

○外航路所要旅路(遞信航路を除く)同一時は五分引を以て運賃割引致候
●神戶、大阪行
×汕頭丸 八月三十日 後二時出帆
×漳州丸 八月 日
●南浦、神戶、大阪行
×天智丸 八月 日後二時出帆
●木浦、釜山、嚴原、鄉の浦、長崎行
×安東丸 九月五日 後二時出帆
×安東丸 八月二十日 後二時出帆
○横濱行
△汕頭丸 八月 日後二時出帆
×福州丸 八月 日
●南浦行
○漳州丸 八月 日後二時出帆
●鎭南浦、大連行
×安東丸 八月卅一日 後二時出帆
×安東丸 九月 日
●西湖津新浦城津淸津行(元山出帆)
安平丸 八月廿七日後十二時出帆
●淸津行(元山出帆)
宮島丸 九月一日後十二時出帆
●上海、基隆、打狗行(大連出帆)
湖北丸 八月廿五日前五時出帆
基隆丸 九月十日後四時出帆
御注意
●朝鮮總督府及び南滿洲鐵道會社と船車聯絡切符發賣仕候●郵便物の一時間前無賃返遞可致候●×印は本船出帆迄寄航廻りで△印は船客積問合の上
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二〇、二五、五番
切符發賣所 內國通運會社京城支店 電話七〇八番
切符發賣所 仁川京城通り 開發旅館 電話二六番

日本郵船 八月仁川出帆

○大連行、太沽(天津)牛莊行
和歌浦丸 八月廿七日 正午出帆
相模丸 九月七日 正午出帆
高砂丸 九月十七日 後十二時出帆
三河丸
仁川海岸町十一番地 電話 回漕部
○江原丸
○青島行(芝罘、大連經由)但し八月十八日廿二日の二回休
○江原丸 八月廿一日 仁川發
全州丸 毎日 仁川發
錦江丸

朝鮮郵船 出帆

本社 電話 三一、三三三、二〇七番
京城支店 京城南大門通 電話 一七〇番
○關門より釜山各地經由雄基行 但し×印あるは江原道寄港せず
京城丸 九月二日
忠淸丸 九月九日 釜山發
咸鏡丸 八月廿九日
平壤丸 八月廿四日
○元山より各地經由雄基行
三浪津丸 八月廿八日
咸鏡丸 八月廿四日 元山發
○浦潮行(元山より城津淸津經由)
平安丸 八月廿一日 元山發
○元山長箭間
咸鏡丸 八月廿七日
城津丸 八月二十一日 元山發
咸興丸 八月廿三日
○釜山元山間
慶寶丸 八月廿一日 釜山發
元山丸 八月廿五日 元山發
○濟州島行浦項及各地經由
慶德丸 八月二十日 釜山發
○浦項行(長生浦方魚津甘浦九龍浦經由)
江陵丸 毎日 釜山發
○濟州島行長承浦麗水巨文島經由
昌平丸 八月廿四日 釜山發
○麗水行(各島經由)
統營丸 毎日 巨濟丸 釜山發
○木浦麗水間(麗水にて釜山行接續)
順天丸 三日目每に木浦發
○木浦より濟州島行各島經由
東盛丸、公州丸 八月二十日
西盛丸、慶興丸 八月廿七日 木浦發
○多島海各島行
慶興丸 八月廿二日 木浦發
○木浦行(群山其他各地經由)
晉州丸 八月廿七日
麗水丸 八月廿二日 仁川發
○鎭南浦行(海州其他各地經由)
宗信丸 八月廿四日 仁川發
○海州行(延坪島南陽經由)
全州丸 毎日
錦江丸 仁川發